(年中無休刊)(日曜日翌日休刊) 大正七年六月四日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年九月八日第三種郵便物認可) 第三千八百十三號 (一)

京城日報

六月三日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 一ヶ月七十五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

◎支那新借款進行

外字新聞の報に據れば支那は新たに酒煙草税を擔保として日本より千萬圓の借款進行中なりと而して同新聞の解説に據れば日本は北京上海、廣東に模範的酒煙草の工場を設立し支那の酒、煙草の製造改革を行はんとす(北京特電)

總督訓示

三日典獄會議に於て長谷川總督の爲せる訓示左の如し

監獄事務の改善は設備の完整と戒護力の充實とに俟つもの多きを以て本年度に於ては新に大田に本監を起し安東に分監を設け更に金山浦に出張所を置くの計畫を樹て一面職員の定員を增加すると共に西大門監獄に看守教習所を附設し以て教習の普及と統一とを圖らむとす然れども在監者增加の趨勢は今尚底止する所を知らざるが故に各位の職務執行上に於ける不便と困難とは將來尚減ずることなかるべし各位は更に一段の努力を加へ監務の刷新を圖り行刑の内容を充實し以て刑政の目的を達成せむことを期すべし

最近物價の騰貴は諸般事務の進捗を妨ぐるもの鮮からず就中穀價の暴騰は在監者の增加と相俟て給養上多大の影響を及ぼしたるも經理概ね其の宜を得大なる支障を生ぜざりしは各位の努力に負ふ所多し然れども物價は今尚昂騰の趨勢に在りて本年度の經理は更に一層の困難を加ふべし各位は宜しく年度初頭に於て愼重其の按排を定め之が實行に當りては細心の注意を拂ひ以て其の適正を圖るを要す近來自作自給廢物利用の方法著しく發達したるは啻に經費の膨脹を防ぐのみならず罪囚に對し勤儉の道を示し簡易生活の方法を教ゆる所以にして感化上の裨益尠からざるが故に其の講究は切に之を希望する所なるも專ら經費の節約にのみ顧念して罪囚の給養を閑却せむか弊の及ぶ所測るべからざるものあらん各位は深く此に留意し經理給養兩ながら其の宜を制し以て罪囚の保健的施設に過誤なからむことを努むべし

曩に公布せられたる共通法は本月一日を以て施行せられたり之に依り内地及び各領土間に於て法域を異にするより生じたる法規適用の聯絡に關する不便を除くことを得たるを以て隨て監獄の事務に於ても亦本法の實施に伴ひ他の地域との交渉一層密接なるに至るべし各位は常に此等關渉事項に注意し他の地域と法規適用の聯絡を圖るに付遺漏なきを期すべし

◎アイオン、トランスト戰闘激烈

アイオン、トランストの間七十五哩の全戰線に亙り最も激烈なる戰闘行はれつゝあり(桑港電報)

◎英軍豫備隊參加

南部戰線一帶に亙る前進陣地にて激烈なる戰闘行はれ五月三十日朝英軍豫備隊は始めて戰闘に參加し二十四日以來戰闘に參加しつゝありし疲弊せる各師團を救助せり(倫敦電報)

◎獨軍オアズ河渡渉

獨軍はコンピエーニュ東方にてオアズ河を渉れり(桑港電報)

◎英佛兩軍接續鞏固

英國にては今回獨軍の攻勢を以て英佛兩軍の接續を切斷さるゝ事なしと信じ居れり(倫敦電報)

◎俘虜獲得四萬五千

獨逸公報は最近俘虜四萬五千人を得たりと報せり(桑港電報)

◎米陸軍費支出決議

米國下院は新に陸軍費百二十億弗支出を決議し且つ大統領に軍隊無限徴發權を附與する案を通過せり(紐育電報)

◎湖南戰線全部停戰

湖南の戰線は五月二十九日より三日間全部停戰したりと(北京特電)

◎陸軍進級異動

今回左の通り陸軍進級異動發表あり(東京特電)

憲兵大佐 笠貞次郎
憲兵少佐 林茂樹
憲兵少佐 小山田潔
補朝鮮憲兵隊長(各通)
砲兵少佐 種田年定
補關東兵器部長
憲兵少佐 池田正
補關東憲兵分隊長

◎尾藤少將著發

陸軍少將尾藤友勝氏は中根少佐と共に鮮滿幹部演習の爲め三日朝著釜北行したるが豫定は三週間の由なり(釜山特電)

◎金谷大佐通過

參謀本部課長金谷大佐は三日朝著釜奉天へ直行せり(釜山特電)

◎古海總長動靜

去る一日より新義州、義州の警察事務檢閲中なりし古海警務總長は三日午前七時半安東發列車にて南下鐵山、龍岩浦其他の檢閲を終りて歸任の筈なり(安東特電)

◎大阪教育視察團

大阪教育視察團十名は二日夜著釜一泊の上三日午前十時半發列車にて北行せり(釜山特電)

◉殖産銀行令發布期

閣議の決定を經一日御裁可を得たる朝鮮殖産銀行令は一兩日中政府より同案の回附あるべく著次第制令として發布の筈

◉憲兵隊異動

陸軍定期の異動中朝鮮憲兵隊長警務部長中黄海道警務部長憲兵中佐伊東四郎、全北警務部長大佐中島知貞の兩氏が豫備役となりたる結果異動を生じ廣島憲兵隊長大佐笠貞次郎、關東憲兵分隊長少佐林茂樹の二氏並に憲兵隊司令部副官大尉小山田潔氏少佐に昇任して何れも警務部長に補せられたるが其の任地は一兩日中に發表さるべし而して此の他に中尉より大尉に昇任する者二十餘名あるべく、隨つて警務部副官、憲兵分隊長等に數十名の更迭あるべき模樣なり

◉辭令(五月二十五日附)

敍勳三等授瑞寶章 正六位勳四等 福田一享
敍勳四等授瑞寶章 正五位勳五等 塚原友太郎 / 正五位勳五等 辻原秦秀 / 從五位勳五等 前澤成美
敍勳四等授瑞寶章 正七位勳六等 山内公允 / 從六位勳六等 高島五八 / 從五位勳六等 羽生慶三郎 / 從五位勳六等 平山勘次 / 從五位勳六等 津守萬吉 / 從五位勳六等 入橋容 / 從五位勳六等 橋本寬
敍勳五等授瑞寶章 正七位勳七等 北村健吉 / 正八位勳七等 森脇英士
敍勳六等授瑞寶章 正六位 丸山柯太郎 / 正七位 四位義正 / 正七位 湊信三 / 正七位 石橋義夫 / 正七位 山口喜一郎
從七位勳八等 花島俊次 / 同 久保他一 / 同 山下迎吉 / 同 龍隨四郎 / 同 杉田藤一 / 同 小出清太 / 同 菅木諦八 / 同 内海熊太 / 同 今井榮郎 / 同 小山恕太郎 / 同 草道常吉 / 同 小林展夫 / 同 戸田正吉 / 同 中島織也
敍勳七等授瑞寶章 正七位勳八等 戸島貞男 / 從七位勳八等 松尾和三郎
敍勳八等授瑞寶章 從七位 黒岩昇一 / 同 大迫榮二 / 同 坂田 [illegible] / 同 長谷川威三郎 / 同 松元 [illegible] / 同 中村 [illegible] / 同 多田 [illegible] / 同 村越 [illegible] / 同 横地 [illegible] / 同 中石 [illegible] / 同 高橋 [illegible] / 同 阿部 [illegible] / 同 村井 [illegible] / 同 田中 [illegible] / 同 藤川 [illegible] / 同 古川 [illegible] / 同 野田 [illegible] / 同 小柳 [illegible] / 同 村田 [illegible] / 同 乾 [illegible] / 同 西堀 [illegible] / 同 服部 [illegible] / 同 梶原 [illegible] / 同 伊地知 [illegible] / 正八位 菊池 [illegible] / 同 岡部 [illegible] / 同 關 [illegible] / 從八位 渡部 [illegible]

◉中央市場條規案(九)

京城商業會議所研究案

第二十六條 問屋が委託貨物を販賣したる時は左の率に因りて手數料を收受す

一鮮魚 賣捌金額の一割以内
一鹽乾魚介 同上八歩以内
一果實其他 同上七歩以内
一蔬菜 同上七歩以内

前項の手數料は賣上代金中より控除收受す荷主の負擔に移すべき費用を立替へたる時亦同じ問屋の手數料は仲買人に歩戻しを爲すや否やに據りて高低あり

△本條の率は 歩戻しを爲すを前提として之を規定せり京城に於ては委託販賣は概ね一割を普通とし名古屋中央市場株式會社の如く市場經營を以つて營利の目的とする所にては生魚に一割二歩(内七歩會社手數料五歩、仲買人の歩戻し)の手數料を徵する外は七歩以上一割以下なりとす横濱市場株式會社は鮮魚貝類獸肉に就いては一割野菜果實其他に就いては二歩乃至一割の手數料を徵收しつゝあり按んずるに問屋の手數料は漸次低下せしめ以つて食料品の廉價販賣を希望するは實に公設市場の目的とする所なれど問屋の手數料を

△急激に低下せしむるが如きは市場を攪亂する虞あるのみならず或は期間内は他の私設市場と競爭の已むを得ざる立場にあれば一方には制限しつゝ尚一方には有利なる條件を設けて彼等を招來するの方法を講じ置かざるべからず此點よりして本條の規定は適當なる事なりと信ず手數料を賣上代金中より控除するは煩瑣なる手續を明かにして問屋の利益を重んじたるに過ぎず

第二十七條 問屋は委託を受けたる貨物は市場附屬の倉庫又は事務所が指圖したる倉庫に保管すべし

問屋は委託を受けたる貨物は周到なる注意を以て之を保管するの義務あるが故に自己が專有の倉庫を有せざる以上は利用に便宜ある市場の倉庫を使用せしむる之亦疑なき所にして市場の經營上より云ふも成る可く市場の倉庫を使用せしめて收入の減少を防がざるべからず若し市場倉庫が不足して寄託貨物を收容する能はざる時は他の倉庫を撰擇して以つて倉庫の不足を補ふべし此際に商人をして隨意に撰擇せしむるは管理上好ましからざるが故に是非共事務所の指圖に從はしむるを要す

第二十八條 仲買人は問屋より歩戻を受くる外荷主に報酬を請求するを得ず

問屋が仲買人を置く事を許さるゝは市場規則第九條により

△明かに推定することを得而して問屋は道廳官の許可を得る以前に市場の經營の當局者たる事務所の同意を得ることを要す此所に言ふ仲買人とは問屋と荷主との取引媒介を業とするものにして市場貨物の集散に就きては必要なる機關なりとす然れども公設市場が食料品の廉價を目的とする以上は仲買等の中間商人の之れ無きを希望せざるを得ず只だ法規を以つて之を排斥するの不可なるを思ふのみ而して仲買人は問屋が自己の爲めに置くものにして其の使用人に非れども一種の

△主從關係に立つものにして仲買人の報酬は荷主に負擔せしむべからず必ず問屋をして支拂はしめざるべからざるなり

◉典獄會議(第二日)

三日午前九時より總督府第二會議室に於て國分司法部長官統裁の下に典獄會議開會直ちに日程に入り午前中は總督の訓示及び諮問事項の説明あり午後より協議事項に移り同四時散會せり

◉證券金額募入

過般朝鮮銀行にて募集せし五分利附國庫證券は同行にて取扱せし分全額を募入する事に決定せりと

◉兵站演習終了

去月廿八日より木浦、全州方面に於て舉行中なりし第十九師團兵站演習は三日を以て終了せり

◉鑞商店問題成行如何

事情尚ほ混沌

京城鑞商店支店の四十七萬圓問題に對し其後の成行を聞くに

△一縷の望み 鑞に對する京城並に地方の債權者が最も望みを囑し居れるはその京城支店が不法手形發行により棉紗の取引商店に及ぼせし四十七萬圓の資金を本店がいかなる用途に充てたるかにある如し一説には大阪鑞本店は相當多量の棉絲布在庫品を有し該在庫品を擔保として銀行より金融を受けゐたるが這般の暴落に際會して擔保評價價格の低落を來し合證を必要とするに至りしより該證として京城支店を餘儀なく惡辣に活動せしめたるなりとも傳ふ、果して然らば在庫品の放賣處分により債務の辨濟は必らずしも難事ならざるべしとの觀測を生み居れり斯くして京城の債權者の如き債權の全額ならずとも相當額の回收は拾ひ物なりとも云ふ人あり、唯此の間の事情は未だ判明し居らず從つて望みも少なきに似たり

△後援者如何 鑞不始末の後援者出現問題に付其關係商店主は曰く被害商店の代表的意味にて上阪せる一二店主よりの電報は後援者見込みある旨を報じ來れど其の内容具體的ならず未だ信じ難し思ふに假令後援者出でたりとするも債權全額の回收を速に行ふ如きは到底至難なるべし、それ程の後援者あらば當初鑞は京城方面の財界を攪亂せずとも事は無事に經過せしならん、恐らく良好に推移しても長期間の年賦償還となるべく勞々被害商店中の若干店は甚大の打擊を受けその内部を大に整理緊縮するの外なからんと語れり

△債權者窘窮 形勢上述の如く未だ鑞商店問題の影響は鮮明に市場に現れ來らざるが鑞によりて被害商店に對し銀行並に個人債權者の態度は漸次硬度を加へ來る觀あり殊に一二銀行の如きは事件の暴露以來期日到來の手形さへその取立を嚴勵するやにて鑞の大阪本店の内情明らかとなり債務の辨濟の方法等周知せらるゝに至らばその次第により面白からざる影響現はれずやと案じつゝある向きもあり又地方の被害者は大邱大田仁川に若干あれど何れも多からず地方財界に大なる波動を及ぼし居れる如き事實は目下の所認め難しと

△銀行爲替問題 鑞京城支店が五月中の延期間に多額の送金を大阪に致したるは、一二銀行の爲替により居れり現金送致説は紙幣兌換等の關係上信じ難し果して然らば一二銀行は鑞の態度に疑ひを挾みし筈なり然もその他の關係商店に何等の注意を與へざりしは不親切也との批難を鑞による被害商店の二三者はなし居れり然かも此の間の實情は容易に知り難く鑞の大阪送金は某々銀行のみにあらず比較的分割して各銀行に爲替取組を委託せしものゝ如く現送も若干試ろみたるに似たり故に鑞と最も關係深かりし某々銀行のみを責むるは妥當ならざるべしと某實業家は語れり

◎南北妥協運動々機

南北妥協運動の動機は岑春煊氏の密使王士章、張宗昌氏等が上海、北京間を往復せる中に醸成されしものにて段内閣は寧ろ指導の位置に立ち妥協運動者は曹錕、張懷芝、李純、王占元、陳光遠氏等に對し段内閣維持を條件として贊成を求めたる如く段派の穩健派が曾て唱へたる妥協説が方面を替へて表はれたるまでなり(北京特電)

◎戰爭繼續不可電報

曹錕、張懷芝、王占元、趙倜、陳光遠、李純の六將軍は連名にて廿七日漢口より電報し戰爭繼續の不可を説き前敵各軍の進行を停止する命令を與へたる旨報じ來れり同時に湖南に於ける吳佩孚を除く全線各路全體の將校より休戰を請ふ連名電報著しせ

◎段總理協約報告

段總理は五月三十一日馮總統に謁見し日支協約成立の經過を報告し併せて時局に關し懇談するところありたり(北京特電)

◉鮮鐵會計檢査

入京中の會計檢査官一行は三日より滿鐵京城管理局に於て大正六年度分に對する同局會計檢査を開始す

◉軍司令官催宴

松川軍司令官は三日午後六時三十分同官邸に於て晩餐會を開き淺川馬政長官を主賓とし立花師團長、國分李王職次官、荻田總務局長等二十餘名を招待せり

◉師團長午餐會

立花第十九師團長は三日正午同官邸に入京中の淺川馬政長官を招待し午餐會を開きたるが松川軍司令官以下中河原、林獸醫部長、前田大佐、佐原中佐等十二名陪席せり

◉淺川中將日程

淺川馬政局長官は三日午前八時京城高等普通學校を視察し正午立花師團長の午餐會に臨み午後騎兵隊砲兵隊を視察し夜は松川軍司令官の晩餐會に臨み四日朝退京の筈なるが其後の日程左の如し

四日午前九時三十分京城發京元線 [illegible] に向ひ [illegible] 引返し午前九時四十分元山發同日午後五時十分京城著一泊の上十六日午前九時五十分京城發京義線 [illegible] に向ひ十七日同所發谷山に引返し二十日同所發平壤に向ひ二十一日新義州に赴きそれより滿洲方面視察に向ふ筈

◉高木博士動靜

去月廿八日入京朝鮮ホテルに滯在各方面視察中なる臺灣研究所長醫學博士高木友枝氏は四日朝出發平壤方面の視察を爲し近日再び入京す可し

◉三宅博士出發

入京中なりし醫學博士三宅速氏は三日朝出發滿洲に向へり

◉市川參謀長歸期

師團兵站演習見學の爲木浦、全州方面出張中の市川軍參謀長は竹内軍高級副官同道四日午後八時五十分龍山著列車にて歸任すべし

◉川田局長出發

入京中なりし川田日銀國庫局長は二日午前八時四十分南大門驛發列車にて歸東せりと

◉關屋局長歸任

歸省中の關屋學務局長は三日午後九時南大門驛著歸任すべし

◉高野支店長東上

三井物產京城支店長高野省三氏は東京本店に於ける支店長會議出席の爲め往復約一箇月の豫定を以て五六日頃出發東上の筈

◉藤村營業局長出張

本社藤村營業局長は往復約二十日の豫定を以て京釜線湖南線方面へ向け三日朝出發せり

人事消息

▲三浦 [illegible] 一氏(釜山府事務官)三日入京不知火へ
▲竹村昌計氏(朝鮮總督府判事)三日朝晉州へ
▲中川寮之司氏(代議士)二日入京山本旅館へ
▲岡友爾藏氏(營務部長)會議列席の爲め東上中のところ十日頃歸任の筈

◇京義線列車より

三笑生

六月一日夜

◉新義州驛長足下、小生は、二日の日曜を利用して、不康な風貌し併せて新義州の古都を探り度、午後九時四十分發、飄然として北行の途に就き申候。

◉京釜線の混雜するに引き換へ、京義線はユツクリしたるものなりとは、屢々旅行者より傳聞したる處に候ひしが、今夕の如きは、殊に其の感を強く候。吾々二人の外韓客官一、軍人夫婦、音樂家らしき青年一、西洋人二の小家族にて、半ば空席にて有之候、隨つて常に目睹するが如き、他人の迷惑も考へず、傲然として二人分も占領して、悠然澄まし込むが如き不快なる光景を見ず、何よりも先づ欣ばしく存じ候。

◉列車内にて、警務總監部の [illegible] に遭遇したる [illegible] 氏と、 [illegible] 氏に [illegible] 候。 [illegible] 闕かに想像致され候。匆々不一

◇九州見物(三十六)

地獄廻り 磐溪生

早朝馬車を傭うて地獄廻りをなす馬車は舊式の乘合馬車にて馬力をかけて驅走すればする程、五體は天井に跳ね上げらるゝ代物なれ共時世遅れの

◎喇叭の音を聞きつゝ、長田麥隴の間を驅る時は時代錯誤の感ありて又風流味あり、馬の發春風を切つて行く事約一時間にして鐵輪に著く、此邊到る處天然の蒸汽噴出し、櫓前竈下穴を穿てば悉く蒸氣と湯となり、湯を沸すにも米を炊くにも、染織をなすにも之を用ふると、燃料に乏しき朝鮮に此の天惠あらば地獄に棲むも敢て厭はずと洒落のめしつゝ珍らしげに

◎人家の檐を覗き廻り、屢々案内の人々より足元が危いと注意さる、鐵輪より馬車をすて、地獄案内の表札途の岐路毎に建てられあるを見て地獄の多きに愕きつゝ、海地獄に出づ、此地獄は最も大なるものにて直徑十數間もあらんと思はるゝ湯壺の底より熱湯沸々と湧き出で、湯は澄みて碧玉を熔かしたらんと思はるゝ程なり、湯壺の深さ四百二十尺、海面よりも深き事

◎百尺以上と稱せられつゝ有るが、高熱度のため繩も切斷さるゝを以て四百二十尺までは測定し得たるも夫以上は未だ實測せざる由、投身者が一夜のうちに紅顏何處にか去つて、空しく白骨と化し無始劫來の罪業を消滅して、ふわりふわりと湯壺に浮び上るに至つては只呆るゝの外はなし海地獄を距る二丁許りの處に坊主地獄あり、鐵色の泥土臉りを發して湧躍し、物凄くして近寄る可らず、彼の

◎噴火口上の 舞踏と言ふ名文句は阿蘇山に登り、火口を瞰下して始めて强き興趣を與へらるゝ由は熊本城より遙かに阿蘇山を望みながら熊本の有志より聞き及び居たるが、別府の地獄を見たる記者は始めて、阿蘇山を有する熊本人と同樣、噴火口上の舞踏なる語に大なる興味を感ぜざるを得ざりき、坊主地獄の上に紺屋地獄あり、明礬地獄あり北方に

◎血の池地獄あり、海地獄は清澄にして、坊主地獄は灰色の泥土湧躍し、血の池は赤鐵の溶土地を彩ふ、焦熱地獄にも赤鬼白鬼ありと言ふ象徵か、我々は地獄廻りに疲れたる足を引摺りつゝ龜川驛より汽車に乘じ別府に歸る。

十一月一日現行 [illegible]

黒の御帽と金銀の劔

—御禪の英元帥軍帽軍劔を 建川少佐捧持して天洋丸にて歸る—

三十日横濱入港の天津丸にて英國皇帝陛下御用の英國元帥軍帽と軍劔を捧持して歸朝した短身にして健に肥つた建川少佐は疎らな髭を捻りつゝ謹嚴な語調で語る『私が捧持して歸つたのは畏くも陛下の召せ給ふ元帥の軍帽と軍劔である

◇戰時の英皇室=二皿の食物と冷水

陛下は聖せられ又高邁質素を旨とせられて戰線に立てる兵士の不自由さ糧食の不足を思はせられて日々の御食事の如き意外に御質素にして既に某外交官夫妻が召され御陪食仰付られたる際の如き僅に二皿の食物と冷水とが食卓上に出でたるのみにて

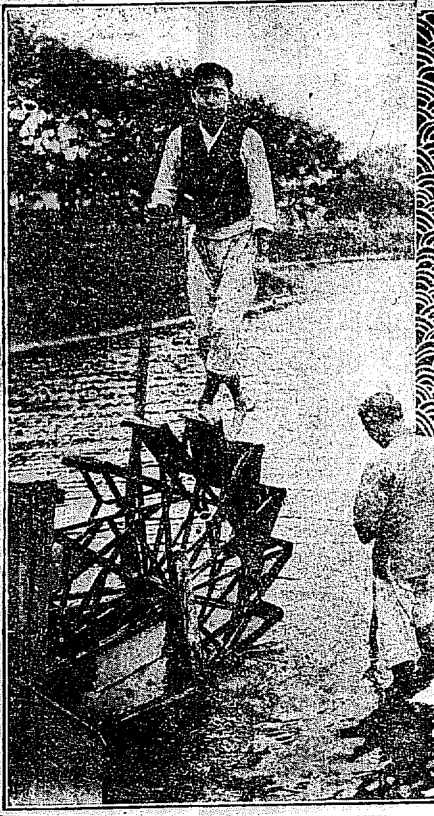
◇帽子は黒ではあるが駝鳥毛の房々としたのが眞白く雪のやうに美しく劔は金銀を鏤めた美の極致かと思はれるほど壯麗なものである、之れは我宮内省から英國宮内省御用を承はる洋服屋に御註文あらせられたもので幸ひ歸朝期にあつた私が捧持して歸る重大な使命を拜するに至つた、また

◇一滴の酒もなかりし趣にして此一事に依りても萬事の御質素を察し得らるべく其の非常なる場合に於てわざ／＼御名代宮殿下の御渡來あらせられたるは英國皇室竝びに國民がいかに日本を待遇して居るかゞ判る次第である』

◇御洋服と御靴が出來上つてゐないが、何にしろ目下は戰時の事とて、陛下の御靴に一箇月を要さねばならぬとの事であつたから私が出發までに出來上るに至らなかつた、孰れ後から來る人が再び捧持して來る事にならうと思ふ私は御職武官として彼方にゐる間に、殿々

◇コンノート殿下を拜する事が出來た、殿下は陸軍の參謀であらせられるが、佛國—に或は内地の各方面にと、陛下の御名代としてかく／＼お忙しくあらせられるが殊の外日本がお好の由にて日本ならばいつでも喜んで行くと殿下は常に仰せられるやに拜聞して居る『英國皇帝陛下には今回の

◇大戰爭に關して甚く宸襟を惱まされて朝夕軍狀を懸は



みづあげ—清凉里養魚場所見—

福原總長卒倒す

仙臺の總長邸にて

東北大學總長は一日午後仙臺の總長邸にて卒倒せるより各博士の診察中なるが原因は貧血症なりとも食傷の爲なりとも云へど體質が體質なる故家人も警戒し居れり(東京特電)

藥學校認可

開校は本月中旬か

既報の如く趙重應子を創立委員とし京城在住の有力なる藥劑師醫師數十名を創立委員として京城に設置計畫中なりし朝鮮藥學校は一日其筋より認可の指令あり同時に豫て申請中の補助金三千圓も交附さるゝ事となりたるに付創立委員は目下校舍に充當すべき適當の建物物色中なるが只管準備を急ぎつゝあれば遲くも本月中旬には開校し得べしと

京都瀆職府會に及ぶ

河原崎議員收監

京都の檢擧は愈々府市政問題に移り二日夜前府會議員正友會幹事河原崎文二氏收監されたり檢擧の火の手此の方面に移れば府會議員殆んど全部に拔手下るも知れず關係者戰々兢々たり(京都電報)

伊萬里燒の陶祖李參平

—文祿の歸化鮮人 有田で頌徳碑を建立

薩摩燒は歸化朝鮮人の齎らしたもので今日では海外にまで輸出して大なる聲價を博しつゝあるが佐賀縣の有田を中心として產する▼伊萬里燒も又今を距る三百年前朝鮮より歸化した李參平なる者が始めて製造したもので彼の九谷燒の如き會津燒の如き瀨戸燒の如きは皆▼李氏の製造法を學んだものが傳へたと言はれて居る程である、爾來伊萬里燒は大いに發達して現今では肥前に於ける特產物となり產額頗る增加したため有田町では李氏(後に金ヶ江參平と改む)を▼陶業の開發者と仰ぎ今回有志相計つて同氏の德を後世に傳へんとて石碑を建てた、其碑文を掲ぐれば

陶祖李參平碑

我が陶祖李參平氏は朝鮮忠淸道…の人なり文祿…我が軍に從ひ…鍋島直茂公凱旋の際携へて歸化せしめ多久安順氏に屬せしむ金江の人なるを以て金ヶ江姓を賜ふ…元和年間有田郷に來りて陶業に從ひ遂に泉山に於て良土を獲り此れ我が本邦に於ける白磁器の嚆矢なり…今日の盛を見るに至れり…其の遺功を欽仰せざらんや

婦人と小供

◇婦人體育の養成

回戰後の準備といふ事は時々多く見聞して居ますが私はこんな事を考へてをるので御座います、我國は廿年間に前後二回までも大戰爭を致しまして世界の列强を驚かしました

回そして其迄は戰場に於る婦人の務めと申せば重に戰場に出で居る男子をして家庭的の内顧の憂ひをなからしむるのみでありましたが今回の世界の戰亂の示す處に依りまして婦人も又尚此上に重い任務を分擔せねばならぬと云ふ樣になつたのであります

回かくて家庭的なる我國婦人も事有る際には國民の一員として直接國家の用にたづさはらねばならぬ日があると思ふのであります

回それには學問とか技術とかの事もありますが先づ體力を作る事が最も必要でありませう、その内私は最も胃腸の健全をはかる事が大切であります、胃腸に少しでも障りがあれば顏容ゑるから疲れて艶なく物事に當つて興味も勇氣も湧かず遂々として樂しまず譲面作つて愚痴が出ると云ふ有樣であります

回幼兒であればムヅカッて不氣嫌で成長の第一必要件なる安眠が出來ないと云ふ風でこれ等はお互に度々實驗して居る事でありませう其害の及ぶ處も多くこれが持續致しますなればきつときまりきつて將に影響して不快な生活を續けねばなりません

回別して幼兒の胃腸病は長引て少年期青年期に至つてその結果をもたらし折角の希望も無になつて仕舞ふ事になります斯うなれば人一生の幸も不幸も思ひもよらぬ時代に既に永久に渡る程の關係を胚胎せしめつゝある事を幼兒には唯一の責任者たる母親が愼重に考へて

回就學前の六箇年間の養育には態々申す程の事でもありますまいが此上とも細密なる注意を加へてやれば自然國家富强の要素はこの邊にありと考へてもよろしいと思ひます

回過日此欄で渡邊法院長夫人のお話もありましたが私も婦人が根本的に覺醒せんとすると云ふ意氣をまづ盛り起し今まではよりズットい理解力を各々が萬事につけて養成すると云ふ事が必要で信念を深くし精神生活の沒めども沒めども盡くる處なきを樂しむに至るまで努力すると云ふ事に

回今後一層我等婦人がこの點に心をそゝがねばならぬと思ひます、まことに一國の氣分には婦人の寄する處が年以上でありますから。(持地長官夫人談)

人夫二名重傷

新築中の家屋倒壞

平北渭原郡密山面邑内居住神川市藏は内地式平屋一棟を新築中五月二十日午後三時過ぎ暴風雨の爲め俄然其の家屋倒壞し折柄作業中なりし人夫同面刀能里の林桂祠(五〇)石成振(二八)の兩名は其の下敷きとなり重傷を負へり

朋輩を蹴殺す

=力自慢の五人力

平安南道成川郡陵中面興上里生れ金明初(三六)は家を出てから十二年間の炭坑生活に鍛へ上げたる體格は身長六尺に及び加ふるに腕力の强きと五人力と稱せられしを好い事にして常に亂暴を働き是まで何者と喧嘩をしても負けた事なきより益々力自慢を鼻に掛け諸所を坑夫生活にて渡り步く中平壤鑛業所高坊山炭坑の陣内喜市の配下と

モヒ患者の賊

=注射料なき爲

咸北會寧居住の支那人梁志出(三三)當慶(三五)常主(三二)張泰根(三三)等はモヒ患者なるが其の注射料なき爲め昨年十二月より本年五月末迄に會寧邑内小川、酒宮、澁谷、櫻井、高主、首藤外二名の内地人宅より五百五十餘圓の金品を窃取し之れを以てモルヒネを買ひ注射しゐたるを發覺し悉く會寧分隊に檢擧さる

女の無錢飲食

=警察でお目玉頂戴=

大邱錦町居住大工山本與三治の妻千代子(三一)は去る三十一日午後八時頃より三歲になる子供を連れ女の身の有らう事か停車場前の飲食店に這入り酒九本を平らげ勘定をせずに子供を置き去りにしたまゝ近所の知人某方へ行き又々ビール三本を空にしてゐた所を停車場前飲食店の主が探し出し一圓餘の勘定を請求せしに支拂はざるため其儘警察署へ突出さる(大邱)

寺の山を賣つた住職

京城武橋町居住僧侶金應晟(五四)は先頃迄京畿道楊州郡白石面靈場里普光寺の住職として在職中昨年十一月頃同寺の伽藍の修繕の爲め其筋の認可を待たず同寺所有の山林より立樹三十本を勝手次第に高陽郡神道面梧琴里の裴斗永に二千六百圓に賣却し内四百二十圓は修繕費に支出せしも殘金は悉く私用に横領消費したるを手初めに其

巡回お伽講演

本社にては愛讀者に酬ゆる爲め『京日お伽講演會』を開始し既に京城に於て三回仁川に於て二回開催せる告の通り愈々地方巡回講演に着手し去る一日永登浦に於て開催更に三日水原を手始めに京釜線湖南線に亙りて約二十日間各地に於て開催す可く藤村理事は龍山派光氏を同伴三日朝出發せり

此の程楊州憲兵分隊に拘引され取調の上京城地方法院檢事局へ

の他寺有の家屋山林等を抵當にして合計二千四百七十餘圓を本年五月迄に横領消費したることを發覺し

お伽巡禮(二)

涙光生

「鍾路校」

◇午前七時、何時も寂しの巡禮さんシマッタ飛びおきて鮮に出たのが八時、いつも迎ひの方たちに早ければお天道様も感心して晴れ渡つたお伽日和、鍾路校の校長先生から電話がかゝつて早く來て下さいとの事、陣を飛ばして駈付けた

◇校門をくゞれば朝の青葉を震はせて床しいオルガンの音に和した可愛い聲が洩れて來る

氣高き心數へつゝ

北に聳ゆる北漢山

たゆまぬ業を示しつゝ

南流るゝ大漢江

學びの業も行も

明け暮れ勵めあの如く

德を養ひ智をみがき

身を健康に保ちつゝ

國につくすぞ人の道

鍾路の校の鐘の音に

鷄の林を呼び醒す

これぞ我等の務なる

◇淵上校長の紹介に壇に立てばさい拍手が鳴りもやまぬ、靜かによく聞いてよく笑ひよく泣いて吳れる程に乘つて話して居ると、サア大變〳〵目が落ちた、それでも私は見むきもしないで盲目のまゝで話をつゞけた、十一時舎を閉ぢ

南大門校

て可愛い瞳に泣かれながら南大門へと急いだ

◇大急ぎで第二回京日お伽會場たる南大門校に駈け付くれば門内に可愛い頭が滿ち〳〵居る『てらお話の先生だぞう小父さんだぞ〳〵』私のお顏を覗き込むまで少年少女のお友達に迎へられて嬉しく笑ひつゝ見せるを向ふでもニッコリ笑つてる、定刻十分後れて一時半講堂に入つて見れば笑ひ顏が整頓のやうに列んで居る

◇松尾理事が開會の辭をのべられるとみんな大ニコ〳〵、次いで私が演壇に歩を進め行くと拍手が起る、まだ一口も話さないのにみんな笑つてる、餘り愼太郎では悲しい事をした

◇『宅の子供をなせ泣かせます』つてお父さん達に怒られはしないかと氣にかゝつたが御本人のお父さんも握拳で涙を拭いてゐなさるので安心した

旅路につきます、さらば歸へるその日まで……(京城の私の弟や妹達よ、明日は泣いた目を拭きつゝ旅路をたどる人達を見つた、さらば我愛する人達よ、歸り來る日まで……)

讀者文藝

(一等には五十錢の賞品を呈す)

下句付

大掃除

仁川 花翁 大掃除遠慮なく食ふ食客(一等)

京城 ミチ子 昔の戀が掃き出され

龍山 凪知 自慢の家財積上げる

京城 默想坊 おなべの秘密が露見し

平壤 静榮子 武門の誇る鎧櫃

龍山 多美郎 掃除すんで晩酌二合ふゐ

同 猫も天井へ驅け上る

京城 角想坊 嫁のたすきの勇しく

◉西本願寺(若草町) 三日午後八時より月說教あり同四日五日六日に亘りて午後一時より三日間を行ふ由

◉天

(挿絵:灯 本日よりもし ともし)

◉賢婦人を以つて聞えた後藤男爵夫人が亡くなつてから最早大分になるが▲此男の人々は故夫人の『いともかしこき御側を偲びよしもがな』と皆て夫人が心を籠めて編纂した百人一首を再刊し之に夫人の小照を添へて夫人縁故の人々へ配付した▲本社にも一部寄贈があつたが頗る氣の利いた小冊子で故夫人を記念するには絶好の品である▲水原では豊昌座のコケラ落しに天勝をよぶ事になつたとやらで水原中が煮くり返へるやうな騷ぎ床屋、湯屋、旅館など苟くも人の集る所なら乾度天勝の噂に花が咲く▲辻ビラには六月一日からとあつたが初日が延びたので何れも方々首を長くして待つて居る事だらう

讀者文藝及び課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名の外に住所氏名明記の事▲一等…

商況

兵庫期米

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

六月限 三〇、九五〇 七月限 三一、二五〇 八月限 三一、六〇〇 九月限 三一、七〇〇 十月限 三〇、四〇〇 十一月限 三〇、五〇〇

下關期米特電

三日前場 先限寄付 中限寄付 三節 二六、五〇〇 六節 二六、三〇〇 五節 [illegible] 八節 二二、四〇〇 一九、一二〇

雜報

三日前場 頭寄弛む 晴、買氣旺盛なるも値[illegible]

綿糸布更に非

大阪三品休日明け今前場は安に當限三百九四五十錢で…

米棉四九と…

現物十六手…

綿布龍…

内地製粉活動

丸鐵更に昂騰

亞鉛引線…

約一圓方の値上

正米ボンヤリ

平板昻騰す

米持合ひた 昨午後以

一躍四十錢方

厚板も又二三十錢

高の氣配

白米尚强し

十錢高の氣配

新茶依然强硬

下關相場

釜山穀物(二日)

仁川正米

南大門の廻穀

京城日の丸市場

生魚市場

仁川期米

三日前場

(頭重し)

市場雜觀

一錢と六錢高

寄付

先二十三

錢と賣物多く九十六

先九十六

錢と引し一錢保合

臨時增證

存外頭重し

悩の成行

今渡し米と買望

亦高原因の一

仁川米豆取引所

三日の八月限

青物小賣値

釜山水產市場(一日)

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金萬田仲買店 仁川港 電話長一二八〇

叺繩莚 穀物叺及荷造用莚各種 大和町二丁目 箕浦商店 電話長五二三番

三日後場 大阪 …

天氣 くもり 一時晴れ

三日の八月限 仁川米豆取引所

ホルワット將軍を訪ふの記
溝の出來たセミヨノフ將軍との間（上）
哈爾賓にて　近藤義晴

悠つたりと胸のあたり迄垂れた白髯は[illegible]高いホルワット將軍に實際好く似合つてゐる、さうして又將軍であり東清鐵道長官と云ふ嚴めしい肩書に無くてはならない物の一つの樣な感じがするけれども此の白髯は將軍の表情と調和して市民に『親しみ』と『民主的な殿樣』と云ふ好い感じを與へる

◇『親しみ』と『民主的な殿樣』けれども夫はもう過去になつた今では曾つては『好い感じ』を與へた……感じを與へられた此の白髯が市民の崇拜の對照物になつてゐるらしい、さうして市民の所謂る『民主的な殿樣』…少くとも市民が斯う信じてゐたホルワット長官は市民に少しの信望も無いセミヨノフを助けた武斷的非民主的な殿樣に代つた、其處に市民の憤りが潜んでゐる、其處に市民の失望が氣味惡るい微笑を見せてゐる

◇さうして又此の頃滅多に姿を見せない白髯將軍の顏にも豊かな白髯とは、まるツきり不調和な暗い影が潜んでゐる

◇夫はプレシコフ大將が東清鐵道に入りコルチヤク提督が代つて沿線鐵道總司令官に就任して未だ間の無い頃だつたコルチヤク新司令官は其の頃セミヨノフ軍が破竹の勢で後貝加爾州に進擊して居るダウリヤ戰線の視察の途に就た而しコルチヤク司令官の戰線視察を報じた露西亞の新聞は軈てコルチヤクが表面何等の理由も無く戰線視察を中止して歸つて來た事を報道した

◇其の頃極東委員會一派の[illegible]に反感を高めてゐた市民は此のありふれた出來事……さう云つて仕舞へば夫れ迄であるが此の一つの出來事にも誰も彼も奇異な感じを抱かずにはをられなかつた

◇けれども時の流れは何時の間にか何んでも無い事として夫を葬らさしたが近頃になつて知れ渡つた…或は當然の成行であると考へでゐたかも知れない…セミヨノフ對コルチヤク新司令官との不和が明かになると市民の間には夫が會話の好い材料となり軈ては『コルチヤクはセミヨノフから追拂はれたのだ…』と其の當時は種々な噂が廣まつた

◇實際其頃兩者の間には溝が可なり深く廣く造られてゐた

◇さうして軈てセミヨノフが其の幕僚と共に戰線から哈爾賓に來た時は更に白髯將軍との間にも一つの溝が出來てゐた

◇セミヨノフは其の溝を距てゝ頭を振つてゐる白髯將軍と何うかして手を振らうとするけれども容易に手が屆かない、セミヨノフは猶癪紛れに白髯將軍に爆裂彈を見せる、そうして手を伸ばさして夫れを握り軍資金を得やうとする、更にセミヨノフはもう一つの溝を距てゝホルワット將軍に對したと同じ手を握らなければならない…けれどもセミヨノフは果して能く其の樣に爆裂彈を見せてコルチヤクの手を握り形勢漸く不利となつた自分の軍隊に助援す可くオルロフ大佐の率ゐて居る極東軍團の兵を自由にするだらうか

紙上寶探し（第二回）

本社は京日愛讀者の爲め面白くてお樂しみになる紙上寶探しを始めます、寶を探す場所は六月四日と五日發行の京城日報夕刊に出て居る『お伽噺』の中に本社名京城日報が鏤つ隱してあるかそれを探し出して葉書でお知らせ下されば宜しいのです

◇締切は六月二十日迄◇宛名は京城日報紙上寶探係◇正解者には抽籤で五十二名に左記賞品を贈呈します但し本紙月極め讀者でなければ無効です

賞品

一等	反物	七名
二等	應接室置時計	十名
三等	パナマ帽	十五名
四等	浴衣地	二十名

◇當籤發表は七月三日の本紙上、發表と同時に賞品贈呈す◇　京城日報社

戰塵一束

セ軍の頓挫と期待
一般露國人日本出兵を熱望す

滿洲里よりの歸客談に依れば昨今の滿洲里本邦在留民一同の浮沈は一つにセミヨノフ軍の勝敗に懸りつゝあるかの如き觀ありて一面にセ軍の成功を祈り居るの有樣なり然るに一時破竹の如き目覺しき勢ひにて進軍せしセ軍も過激派掩援隊到著したるの結果オレアンナ線撤退の止むなきに至りたるより漸く同地の人心に動搖を來たしセ軍チタ占領の曉には最先驅けの商功を獲得せんものと待ち構へたる商人連迄も以上の如きセ軍の狀態に捗からず氣を腐らし眉を顰めて居る有樣なりと次に日本の出兵問題なるが該地の露人は孰れも帝國の出兵が愈々事實となり今にも滿洲里に著する由の風說を盛んに立て居るが又實際彼等は殆んど豫想外なる程の熱心を以て帝國の出兵を翹望し居れりとか（哈爾賓）

支那新聞の推測說
西伯利今後の戰局について

哈爾賓の支那新聞は後貝加爾州が悲境に陷れることに就きての諸報を掲載せるが支那軍隊側の報に依れば貝加爾の過激派軍は今や地方人を戰線に集中し其の中三萬五千人を經て後貝加爾州に向へるが此の獨墺俘虜あり彼等は西伯利鐵道の報道は北京に於ける外交團の間になりつゝあり之れに就き同支那紙は此の報道に關聯し滿洲里は日支聯合軍と獨逸軍との一大戰場たるべしと想像せり（哈爾賓）

奉天軍の主腦
孫烈臣…吳俊陞…楊宇霆

主戰派の急先鋒たる曹錕、張懷芝病みて辭職を乞ひ各軍亦次第に軟化の傾向あれば[illegible]今は奉天軍の與論に依つては赤た討伐熱心の外なきに至るべきが奉天軍は參謀長楊宇霆二十七師長孫烈臣及び二十九師長吳俊陞等に依つて大軍を提へ既に漢口へ司令部を設けつゝあるが之れ亦た軟化せずんば幸なり寫眞は最近の楊宇霆（一）吳俊陞（二）孫烈臣（三）なり

古塔を發掘す

平安南道成川郡靈泉面龍岩里畑中より高さ九尺一寸五分基底四尺五分平方頂一尺一寸平方なる花崗石製の古塔發掘せられ表面の加工甚だ粗雜にして地中に埋沒し居たる爲め所々缺損し全面苔を生じ一見餘程古き物たることは確かなるが其の年代、由來等不明なるも多分寺刹の遺物なるべしと（平壤）

圖案當選者
◇平壤商業會議所徽章◇

四月下旬本紙にて募集したる平壤商業會議所徽章圖案は應募者多數なりしが左記三種當選せり（平壤）

（一等）分銅に平の字　海州監獄[illegible]　岡村宏
（二等）平の字丸の中に商字　[illegible]　兒玉沙二郎
（三等）平の字四個を丸く繞し中に商の字　京城太平通二　池田末弘

流行病の爲め輸送力激減す
◎哈爾賓及び長春等◎

目下哈爾賓は惡性のインフルエンザ大流行を極め之れに犯さるゝ者頗ぶる多く、銀行、會社、商館の如きも大半之れに罹り事務上非常なる支障を感じつゝあるの狀態なり此の現象は啻に哈爾賓のみならず長春も同樣にて、長春驛の如き使用の荷役苦力百名以上も該病に犯されし爲め石炭及び貨物の上げ卸しの捌き付かず、貨物は益々停滯する有樣にて哈爾賓より南滿方面に輸送すべき貨物の發送は一週間程の間見合せられたしと哈爾賓に申込み來たりし程實に該病は猖獗を極め居れり（哈爾賓）

◎廢馬の拂下値段　平壤兵器支廠にては一日廢馬二頭を拂下げたるが一頭は百五十圓一頭は六十六圓にて落札したり（平壤）

公州瞥見記
八島生

◇公州に入りて記者の意外に思ひたるは公州人士の[illegible]に過ぎたる事にて候、と申すは公州人士の口を開けば忠南道廳の[illegible]大田に移轉すべきを杞憂し殆んど人心恟々たる狀態に御座候、殊に民間の[illegible]ての事物に其の影響を及ぼし一[illegible]せし以來再び再起の勇なく而かも[illegible]多年の[illegible]たりしに拘はらず早くも[illegible]孔湖州に[illegible]して斷き公州の[illegible]は一[illegible]

◇然るに其の他面に於て土地の[illegible]氏の如き土地開發の急先鋒として自ら[illegible]の經營をなし其他鮮人資產家の[illegible]に投資する者續出せる際獨り內地人側の[illegible]斷[illegible]せるは[illegible]以て遺憾とする所に候[illegible]ば世上の流言に耳を借すなく此地永遠の[illegible]に努力せられたきものに候、匆々

居るは甚だ思はざるの[illegible]に候、[illegible]に惑かされて輕忽にも自ら求めて之を[illegible]さは萬あるまじく然るに公州人士が風說[illegible]して迄て假かに道廳の移轉せしむるが如きことは[illegible]よりの歷史を無視し地方開發の根幹を覆へ[illegible]なるものさいふべく、當局にても[illegible]一部ならんも、[illegible]

◇公州は果して公州人士の悲觀する如く[illegible]かくい込みなき所なる乎、是は大に吾人が公州人士の多數と其の見解を異にする所に候[illegible]に問はん、金鮮各道中忠淸南道の如く實力ある鮮人資產家を多數に有する所ありや、更に附近一帶[illegible]大沃野あり、是に產する無盡藏の天惠は公州の利源として、倭に此地の繁榮を支持し得べく、殊に京釜鐵道[illegible]に對しては一時間にして達する自動車あり[illegible]に附近交通の要衝にある錦江との間に[illegible]の運輸を見、交通運輸の便宅も[illegible]なきに非らずや、而かも[illegible]の[illegible]し、且つ巨資を有する鮮人富豪のあるあり、[illegible]住したるかを立證す[illegible]を加へん、するは吾人の甚だ遺憾に堪へざる[illegible]家の多きは如何に公州の住民が他地方に[illegible]

地方巡回＝本社主催＝
お伽講演
四日の各講演會

鳥致院小學校　午前九時より
淸州小學校　午後三時より
芙江小學校　午後七時より
次回＝五日＝大田　[illegible]

東蒙に於る寶庫の物資大集散地
（滿蒙有望地案內）

鄭家屯繁昌記
長春支局　高橋生

鄭家屯は先年日支兵衝突事件以來我が邦人に多大の注意を喚起し四鄭鐵道の開通より頓に發展の度を增しきより同地視察の爲めに旅行せし通過數日に過ぎざる滯在に加へて半ば降雨の爲め他地と異り外出甚だ困難なる同地の事とて其の聞知する所亦極めて狹きを以て茲には只概略を記するに止む

前途極て洋々たり
東蒙古に入るべき關門の樞要地

鄭家屯は人の知る如く奉天省遼源縣の都市にて東蒙に入るべき重要なる關門なり而して同地に起り白音多來より洮南を經て兆南に出でんとする鐵道も近く敷設せらるべく東蒙の大富源たる諸產物も潮の如く同地に來集せんとし鄭家屯の前途は實に洋々たるものあり在住支那人合して三萬以上と稱せられ土地廣大にして雜然たりと雖も人家稠密し大街の商家には顧客絕ゆるなく往來は支那人を以て實に[illegible]

日本人の暮し向き
日本の藝者もあるし鮮人酌婦も

鄭家屯に在住せる日本人は男百九十名女百三十九名計三百二十九名、戶數百二十三戶あり日本官公衙としては領事館、守備隊、滿鐵分局及びホテル、小學校を併有せる滿鐵醫院等にて外に朝鮮、正隆の二銀行あり、日本人會は過般正副會長の退去以來未だ候補者確定せず缺員のまゝとなりと云ふ市民側にては金貸業多く十三戶あり賣藥商は九戶、食料雜貨商二戶旅館及び料理店各三戶あり藝妓三名、酌婦十八名外に朝鮮人酌婦五名居り又日本人の女にて支那人の妾となり居れる者三名あり二名の小兒生れ居れり

電話も電燈もある
但し電燈は二三一商店位より

電話（支那局）は總てにて目下正味百十個あり此內邦人使用の物は約三十個にして架設費十圓通話料一箇月六圓なるが多數の空番ある爲め架設申込を非常に歡迎し居れり同地の電燈は滿鐵と支那巨商との合辨事業にして最早電柱の建設も略終り各戶の引込線工事も申込中のものは殆んど終了したるが發電所機械類の据附けに暇取り今後約一箇月の後ならでは送電するに至らざるべしと

郵便物は滿鐵にて
取扱ふも電信は一寸不便なり

我が郵便物は滿鐵醫院內にて便宜上取扱ひ居れるが電報の如きは支那局に依賴するより外なく又南方より邦人宛の電報は四平街より汽車輸送を爲し居れる事とて他方に比し其の間の時間遲延するは已むを得ざる所なり

物價は割合に安し
牛肉豚肉鮮魚よりも安價なり

鄭家屯に於ける食料相場左の如し
（米十二圓六十錢（一石）石油七圓六十錢（一函）[illegible]（一升）[illegible]五十錢[illegible]十五錢[illegible]豚肉同二十錢[illegible]鷄卵十個[illegible]）

燃料は薪甚だ少く概ね高粱稈を以て之れに充て居れり炭は開原方面の物を用ゐてゐる

魚類は川魚ばかり
それでも鯉と鮒は極めて美味

海魚の來る事は甚だ稀にて生魚と云へば殆んど川魚のみなるが遼河より漁獲する鯉及び鮒は質に多大にして鮒の如きは三寸以上の大なるもののみにて甚だ美味なり價格割合安く一斤四錢位なり

人力車は不便なり
雨が降ると泥濘深く乘せて呉れず

鄭家屯には現在人力車二十臺以上あるも何れも低き不恰好なる上海車のみにて賃金は約三四丁の處にて十五錢位なるも降雨の際は四五十錢ならざれば乘せず其れも大雨の爲め道路の險惡になりたる時は全然其業を休みて姿を見せざるが爲め甚だ不便なり

安全確實の利殖法
三百圓で千八百圓の利殖
‖此の期間僅か三ケ月間‖事實が之れを證明する‖
▽有價證券利用利殖秘訣公開▽

金の出來ない人に質問して見たい、『貴君は金利の計算を御存じですか』と、世間を御覽なさい、金持になる程の人は必ず金利の觀念が強いが、金の出來ない人に限つて、キッと、金利の觀念が乏しい。よく考へて見ると、金利くらゐ恐ろしいものは無い、百圓の金を銀行の定期預金（年五分）に預けて置いただけでは、三十年目に四百三十二圓十九錢、五十年目には千百四十六圓七十四錢にしか成らないけれど、同じ百圓の資金を、年二割に運用すれば卅年目には二萬三千七百卅六圓九十五錢、五十年目には實に九十一萬○十七圓七十八錢になるのである。金利の說明は判つた、成程年二割に廻して行けば、小資本の者でも忽ち

◇一廉の　金持に成ることが出來る、併し理窟はさうだが、實際に年二割に金を廻して行くことが出來るだらうか、三割にも四割にも、時によつては五割六割、十割にも廻すことが出來る方法がある。それは何であるか、有價證券（主として株券）の賣買である。諸君は今日まで、此方法を知らなかつたが故金持に成れなかつたのである。三井、岩崎、大倉、安田なぞと云ふ天下の

◇富豪は　恐らく此方法を知つて居たから、あの富を作り得たのである。諸君と三井、岩崎の財產の差額は、此方法を『知つて居る』のと『知らぬ』の差である、そこで同じ有價證券でも公債や社債などでは高々七八分の利子が取れるばかりだが、株券だと配當金が非常に大きくなる上に、値賣りが出來るから、利益が非常に大きくなる、即ち資本と利子と兩方で殖ゑて行くのである。例へば郵船會社の新株を昨年十月二十五日に一株百八十一圓出して買つて置くと、前期の配當金（拂込額に對する年五割）を取つた上に、今年二月二日、三百六十圓九十錢といふ値の出た時に、これを轉賣すれば僅か三月と二日間に、百八十一圓の資金で百七十九圓九十錢の利益を得られたのである。即ち元金と利子と兩方で儲けて居るから、非常な增殖ではないか。この割合で同株を十株買つて置けば、一千七百九十九圓の儲けになり、百株買つて置けば、實に一萬七千九百九十圓と云ふ、莫大な利益を得られたのである。更にこの場合一株百八十一圓出さなくとも

◇三十圓　の手附金で買つて置くことが出來る方法がある。十株なら三百圓出せば、現株を買つて置くのと同樣に利益は矢張り一千七百九十九圓である。三百圓の資本で三月の間に一千七百九十九圓の利益とは何だか夢のやうな話だが、論より證據事實がこれを證明して居るのだから仕方がない。諸君こんな面白い金儲けが株券の賣買以外に有りますか、有つたら敎へて戴きたいけれど恐らくあるまい、他にある筈が無いのである。以上はホンの一例に過ぎぬが、其他の會社の株券なら、如何なる株であつても大抵一株四五圓から十圓內外の手付金で買つて置けるのだから、少し上手に遣りさへすれば、僅の資本で前例よりも大きく利益が得られる。

◇手附金　を打つて買つて置いた株券の値が、思つた通り上れば非常な利益を得られることは分つたが、常に上るとは定つてゐない、若し反對に下落したらドウするかと云ふ疑問が起るだらう。斯かる場合には現株を引取つて置き、銀行の利子よりも遙かに好い利廻りになる配當金を取りつゝ、時期の來るのを待つて値の高くなつた時賣れば、非常の大利益が得られる。株の値段の上つたり下つたりするのは、恰度海邊へ打寄する波のやうなもので、一年の間には幾度も幾度も上つたり下つたりするから、その機會はいくらも來る、斯くすれば株券を買つて値段が思ふやうに上らなかつた時でも

◇銀行に　預金した以上の利益がある、論より證據現在一流の株券が何れも平均一割二三分以上の利廻りになつて居る、故に銀行から金を借りて株券を買つて居ても尚且つ六七分の鞘が取れる。であるから、此點が株券賣買の非常な強味で、他の商品ではトテも斯んな譯には行かぬ、例へば石炭だとか、生絲、綿絲、米などでは買つて持つて居ても利息が生じないばかりで無く品物の質は惡くなる、倉敷はかゝるで、持つて居れば居る程損失が加はるが株券はそれと正反對である。土地や家屋なら地代だの家賃だのが取れるから一寸株券と同じやうな點はあるが、金が入用で直ぐ賣り度いと云つても急には賣れず、又賣る場合には安く踏み倒されるものだが

◇株券は　取引所で毎日多數の取引があるから、そんな心配はない、それから手附金で買つた株が反對に下落した場合に現株を引取るにはそれだけの資本が要るが強て現株を引取らずとも『乘換』『難平』『ドテン』等の方法を利用すれば、如何に下落しようとも少しも損失なきのみか、却つて下落して呉れたお蔭で、大利益を得ることが出來るのである。斯う云つたばかりでは未だ分らないだらうが、この說明は本社有價證券研究會發行の『致富寶鑑』に詳しく書いてある、現に昨年來

◇本社を　信じ本社の會員となつて株券を買つた方々の中には儲けた人が澤山あつて其の盛況である、若し疑ふ人あらば本社へ來て實見すれば分ることである。但し株券を買ふにも確實なもの、儲けの多いものを選ばねばならぬ、されば、ドノ株券を買つたらよいか、買ふ手續きはドウするものか、又手附金で買ふ方法はドウするものか、夫等の事も總て誰にも分るやうに詳しく本社發行の諸著書に說いてある、入會希望の方は先づハガキで東京市神田區一ツ橋通町八株式會社富強世界社へ『有價證券研究會規則送れ』と申込まれよ、直に內容のよく分る印刷物を無代で進呈する。

三日相場　大阪前止め二十五圓九十六錢の入[illegible]
[illegible]二十二圓六十五錢中七十[illegible]

▲題　奇術とかけて
▲二口　時事
▲下旬付『初夏らしい』
六日　七日　八日　九日
投書後一週間以內に[illegible]但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

男のひみつ病
最名譽大金牌　專賣特許・東京順天堂病院初め多數博士御證明
最有効の空水合併療法も行はれ生殖器不完全「機能障害」急慢性に病包皮等も頓に手術に治す
ハガキで申込み說明書を無代呈進　他と比較優劣を希ふ
東京京橋木材木町三ノ廿五東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地大阪新療法研究所
京都市烏丸通り魚ノ棚下ル京都新療法研究所
京城本町二丁目浦尾旅館前朝鮮新療法研究所

石材値上謹告
諸物價騰貴ニ付爾今現相場ヨリ壹割値上候也
京城石材採取同業者一同

□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布ゴム引マント
雨具一切
□魔法瓶及中瓶取替
□其の他旅行用具一切
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

產科 婦人科
京城諒町
二宮醫院
電話一二〇一番
醫學士 宮亮二吉

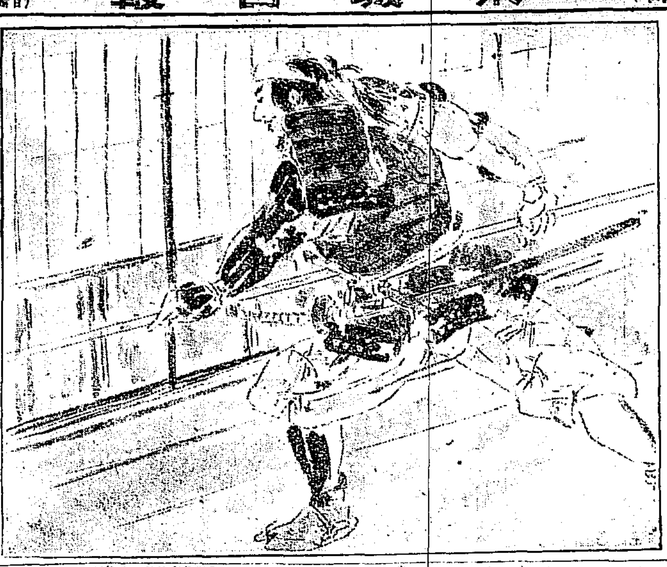
滋養強壯劑
レグモン
新滋養強壯劑レグモンは京都醫科大學敎授森島醫學博士より有効滋養劑として醫界に紹介せられたるものにして、日本赤十字社病院山下醫學士其他多數知名なる臨床醫家によりて從來外國より輸入せられたるソマトーゼサナトゲンに比して決して劣らざる優秀滋養劑たることを認承せられたるものなり。
レグモンの最も有効なる場合は肺結核、慢性胃腸病、慢性胃腸炎、糖尿病、神經衰弱、虛弱なる小兒、インフルエンザ後の衰弱、腹窒扶斯、赤痢後の衰弱、產後の衰弱、其他慢性病にて衰弱せる人、外科手術後衰弱せる人、並に乳汁分泌量の少き人等なり
詳細なる說明書あり、無代郵呈す、全國知名藥店にて販賣す。
定價百五入壹圓貳拾錢貳百五入貳圓貳拾錢百五入四圓五十錢
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店

◎病院開設
內科　小兒科
外科　花柳病
內科　皮膚病
京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）
內田病院
院長　內田熊治
電話三一六番

塚原卜傳

第九十五席　悟道軒圓玉口演

池田丹波守義輝公に、丹『見参』と呼はつて突掛る、義『推参なり』と槍執直ししばらく突合せて居たが丹波守一つ搦んで刎上る、義輝公思はず槍を宙に飛ばし、殘念と帯びたる太刀を抜くより早く丹波の槍の柄を拂ひ給ふ、丹波手早く槍を引いて再たび繰出す槍先き電光石火、義輝公右の股をサッと突かれ思はず蹌踉く、處を丹波が掛つて止めを刺さんとする此の時早く彼の時遅く走來つたる細川治部少輔藤延、之れは藤孝の弟、躍り掛つて丹波守の槍の柄を切つて落す



丹波守邪魔いたすなと一刀を拔いて藤延と渡り合ふ隙に義輝公奥へ引取り給ふ、丹波守義輝公を逃して殘念と一喝叫んで藤延を切倒し其儘奥殿目懸けて驅入れば、灯明とて短檠の灯ほの／＼と障子に透し、あり／＼うつる影法師は正しく義輝公と障子越しに一刀取延べてプッーリ突通した、義輝公今まで最前太股を突かれて弱り給ふ所を、又も丹波の突き通した太刀が脇腹に深く入つたアッと一聲打倒れる、障子を蹴放して池田丹波躍入らんとする處へ後ろから杉原武田の三人飛來つて切つて掛る、丹波之れと戰ふ中、義輝公御臺所を近く呼んで其白き袖を引破り傍なる筆取つて書げる一首の歌

『五月雨は露か涙か時鳥我名をあげよ雲の上まで』

義輝の足利家の運命は茲に窮まつたり、我汝に生命を落すとも魂魄は必ず止まつて逆賊を亡ぼすべし」と怒れる眼に血を注いで寄手の方をハッタと白眼み、重代の寳刀を切と名付たる太刀を執直し『義輝御免』と切尖を口に啣へ俯向きに倒れて頸まで突貫ぬき悲壯なる最期を遂げました、行年三十歳惜しむべき勇將を一朝の露と散らしたは殘念千萬、掛君麿も將軍の屍に取縋り、後れじと短劍を咽喉に突立つて最期を遂げる、御臺所近衛氏も同じ枕に生害して打伏したる樣子、折しもサッと吹立つる一陣の旋風、炎々と燃上る業火の炎、紅の舌を吐いて眼瞬く中に室町の花の御所は灰燼となつて飛散る有樣、池田丹波は火中に飛込んで義輝公の首を求めたが煙に紛れて見わかず、幸くも御臺所の屍を摑んで肩に懸け火中を躍出で、一色上野、細川、武田、杉原を初めとして一同勇を奮つて防ぎ戰ひ各々思ひ／＼に勇ましき討死を遂げる、三好一黨鯨波の聲を上げて人數を纏め引上げんとする處へ御所の騒動を聞いて大に驚いた上野中務少輔、進士美作守の兩人コワ一大事と引返して來つたが最早御所は灰燼となつて失せ、將軍も御生害との事、無念の齒を噛んで兩人此上は三好一族一人なりとも討取つて亡君の無念を晴さんと二百人の人數を眞間に備へ敵中に驅入つて散々に戰ひましたが、名に負ふ敵は大勢なれば二百人の人數も見る間に討果たされ進士美作守は亂軍の中に勇ましき討死なし、上野中務少輔は一方を切破つて近江路へ落失せましたが殘る者共は八方へ散亂なし、茲に完く室町は亡び果て、三好一族凱歌を擧げて河内路へ引上げる、飯盛城に在る三好長慶大いに喜び、直ぐに阿波より義榮を迎へ之れを普門寺の城に置いて新將軍と仰ぎ改めて京師に令を下して新政を施し其威を揮ふ事になりました重ねて義輝味方の者を追討の手配をする、お話分れて山名監物斯る事は夢にも知らず五月十日に都を立つて越中へ入りましたが一揆が起つて途を塞いで行く事が出來ぬ、止むなく加賀へ戻り白山越をして飛騨に出で信濃路へ入つて越後へ赴かんと乘鞍ヶ嶽の山道へ掛つて來ると後ろからオーイ／＼と呼ぶ人がある

人蔘王大

京城本町壹丁目　電話一四八〇　一八七〇番　㋡津村兄弟商會

六月五日九星　舊四月廿七日　癸未

本命　八白　良滿赤口

▲八白 家庭造ひの事有り新事見合東方は吉 [illegible]

▲九紫 [illegible]

[illegible]

▲女髪　生徒募集　美髪元祖教授三ケ月　日本全國於卒業會則郵券三錢送れ

京城本町一丁目　婦人高等美髪學會

日本一　最上清酢　マルカン印

ほまれ味噌

上醤油　龍

日本醤油株式會社　京城出張所　電話二四五番

演藝案内

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

[illegible]

黄金館　電話二三六三七　二三六六

[illegible]

壽座　京城壽町　電話五七八番

[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三

[illegible]

有樂館

[illegible]

西村眞太郎著　會話精通　定價一圓三十錢　京城日報社代理部

五拾圓の小資本で有利な呉服屋が出來る

安全第一確實有利な小資本の呉服屋とんな山間僻地でも呉服物の必要の無い所は無い、たさへ見れば一村凡そ五百戸ある所が田舎で一戸あて一ヶ月五拾錢の買物をしたと見て御覽なさい一ヶ月合計二百五十圓です其利益が二割として五十圓の利益が得られるではありませんか呉服店でも木綿織物を扱つて居れば損する心配はない様な心配はないことです大なる抱負の下に到る處一町一村に一名づゝの特約店を設置し廣く普天の下率土の濱に到るまで理想的の東京織物を一手に供給せんとする事業を拂ふ事を辭せざるのみならず特約店の利益を保護し相互に永久に取引の道を開かん事を期す特約店規定郵券二錢御申越次第送呈

東京九段　久保濱呉服店卸部

毒の病と筋骨の病を救ふ

梅毒、淋病、リウマチス、瘰癧、痔疾、脂肪過多其他血液内及筋肉内の病には本社專門藥は他に類例なき養貨に用ひて速やかに治癒せしむ○此専門藥は他に射用の緊要なる事を悟り長服用せしむるに依り全治せしむ其他

旭製劑株式會社　旭嶺藥部

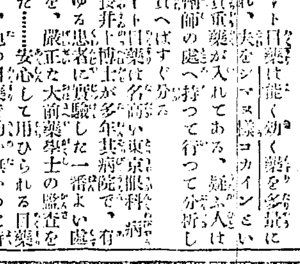
ソレ此目藥を

醫學と藥學の進歩は、年々著しいから目藥も勿論學理と實驗によりて、進んだものを用ひねばなりません、素人では、シマヌ目藥は効かぬと思ふ人もある様ですが、是程大なる誤解はありません、可成目に刺激を與へぬ様にして、能く効く藥を多量に使ひ、其をシマヌ様にするにはコカインと言ふ高價の藥を使はねばならぬから、大低の賣藥は、後の目の爲を考へずに素人好のする様、シム様にして

ロート目藥は能く効く藥を多量に入れ、夫をシマヌ樣コカインと云ふ貴重藥が入れてある、疑ふ人は藥劑師の處へ持つて行つて分析して貰へばすぐ分る、ロート目藥は名高い東京眼科病院長井上博士が多年其病院で實驗した一番よい處方を、あらゆる患者に嚴正な大前藥學士の監査を受けした……安心して用ひられる目藥です、他の目藥で効か無かつた時はロートを用ひて御覽なさい、直に目に見えますから

ロートはシユミも痛みもしませぬから大人と小兒と兼用が出來ます

（廣告）



目ニ見ヘテズングトキクシユマズイタマヌ

井上博士ノロート目藥

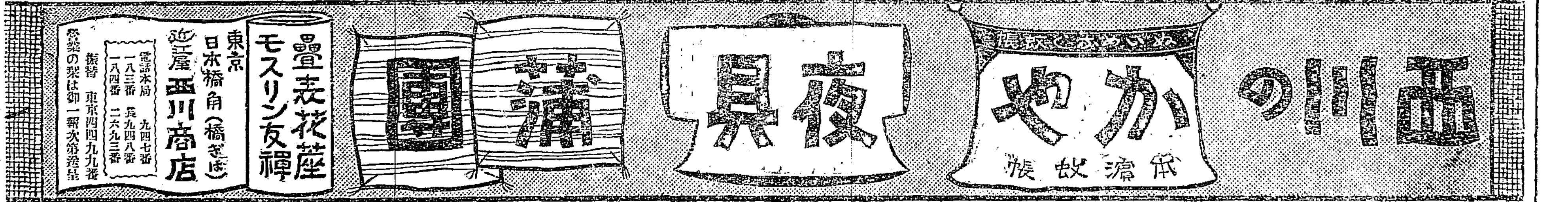
ロート目藥は一切の眼病に奇効あります然しソコヒには効がありません、眼病を不潔い布や指で摩るのは目の爲に悪いからロート目藥には消毒した布と新案の點眼器を添へてあります(左圖の如し)

定價　徳用平錢　中瓶三十錢　小瓶十錢

◎全國各藥店にて請賣す

東京市日本橋區本銀町三丁目　ロート本舗　山田安民藥房

大阪市東區南久寶寺町二丁目　ロート發賣元　山田安民藥房



西川のかや　夜具　蒲團

本家　西川

疊表花莚　モスリン友禪

東京日本橋角(橋ぎは)　近江屋西川商店

電話本局　九四七番　一八三番　長九四八番　一八四番　二六九三番

振替　東京四四九九番

參考の栞は御一報次第進呈

月刊商報發行所　雜貨問屋　釜山大廳町　明治屋本店

洋酒　罐詰　糖粉　卸商　(月刊發行)　釜山　あづまや商店　電話長三五八番　振替京城三九番

スマート　[illegible]

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋　釜山　山西商店　電話七〇番　振替京城二二〇四番

酒精、瓶詰入燒酎　西貢米碎米　大豆大豆粕　砂糖麥粉　食料品雜貨　釜山埋立新町　[illegible]商會卸部　電話長一〇八番

朝鮮特産藥用人蔘配合　蔘精生葡萄酒　ニンジンキブドウシユ

大日本酒(通販)　質　黄金町長橋町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

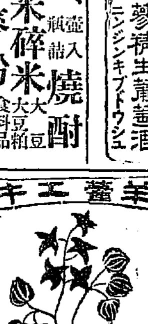
釜山商店案内

株主となる捷徑　株券が手輕に買へる

最も輕便にて資金と趣味に富たる方法にて　各株式現物販賣

大連市三河町三九　滿鮮證券信託株式會社　電話二〇二番

京城府明治町二　滿鮮證券信託京城支部　同出張所　仁川宮町



定價　廿瓦入金壹圓　卅瓦入金壹圓五十錢　四十瓦入金壹圓九十錢　五十瓦入金貳圓三十錢

送料　鮮内二錢　外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那、朝鮮兩國人に愛用せられしが産出一地方に限られ高麗人蔘の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人蔘を凌駕すとて醫家の重用する所なり然るに如何なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘と同じく明白ならざるも本劑が殊に効能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり

主効……神經衰弱症、貧血症、胃腸病……腺病、生殖器病、リウマチス……ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、精力減退

以上に依り適應症左の如し

(1) 精力を盛んにし精神を爽かにし(2) 思考判斷及能記力の減耗を癒す(3) 讀書計算の疲勞を癒す(4) 安眠し赤眼の疲れを癒す(5) 筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す(6) 消化及便通を良くす(7) 産前産後及病後の衰弱に良し(8) 血の道氣鬱症に良し(9) 子なき人に良し(10) 貧血虚弱を癒し容貌を良くす(11) 手足腰の冷ゆるに良し(12) 陰萎遺精及子宮病に良し(13) 痳疾に良し(14) 長壽なるべし

全國一手販賣　朝鮮京城府太平通一丁目　合資會社京城日報社代理部　振替京城二〇〇番　電話長六〇九番

人事百般周旋業　萬年社　京城府明治町貳丁目　電話長一八四四番

京城　久枝肛門病院　痔疾專門　入院隨意　京城明治町二丁目本町より入る中程(電話二一〇二番)

いぼぢ　はしりぢ　さけぢ　かゆぢ　わけぢ　こうもん　脱肛　こうもんきようさく　肛門周圍炎　直腸狹窄　痔瘻　肛門神經症　[illegible]

藥種賣藥卸商　仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六七番　京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

醫化學器械一式　Ⓚ

外科花柳病　内科婦人病　入院隨意　京城本町五丁目稻荷座前　大和病院　醫學士齋勇　醫士齋豐次　電話二〇二番

[illegible: railway timetable columns 京釜線・京義線・京仁線・京元線]

第五版
京城日報
六月四日朝刊　(朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價　壹部金參錢　壹ヶ月金七拾五錢　[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話番號　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]　印刷人　小川三之介

▲三日後場　大阪前止め二十五圓九十六錢の入　電に當限二十二圓六十五錢中七十[illegible]

東京より　在京一記者

日支協約と東邦の局勢(一)

○日支兩國の間に締結せられたる軍事協商は世界大戰以來兩國の識者が要望したる日支提携政策の實現せられて具體的と成りたるものにして極東の外交局面に對し新紀元を劃したるものと謂ふも過言に非ざる也

○該軍事協商は即ち國防同盟なるものは時代の要求世界大戰の產物にして日支兩國の等しく要求しつゝある問題なりしと雖も特に兩國政府をして共同提携の下に國防的同盟の協約を締結するの緊要已む可からざるを切實に感せしめたるものは露國革命の結果西伯利亞の形勢に一大變動を生じたること是れ也。

○露國過激派の政權を掌握せしより無政府主義の思想露國の全土に瀰漫し秩序紊亂、紀綱廢頽、露國をして土崩瓦解殆んど收拾す可からざるに至らしめ其の極露國の屈服と成りて露獨單獨條約の成立を見るに至りたるは聯合國に取ての打擊なりし也、軍國主義の國是として東方に進取せむとする獨逸が他迄もブレスト、リトウスク條約を利用し露國崩潰の弱點に乘じ一方には武力を以て他方には外交を以て鯨呑蠶食の慾を逞うするもの必至の勢にして芬蘭は獨逸の皇族を戴く君主國と成りリガ地方は獨逸帝國に編入せられむとしウクライナは元帥ゲーツマン獨逸の旨を承けて獨裁政治を行はむとし黑海より波羅的海に通じ芬蘭及歐露の大部分は獨逸勢力の侵入する所と爲りたるは固より怪むに足らず、而かも獨逸は獨り之を以て足れりとせず更に經濟的に露國を獨逸化せしめむとし今や更に進みて西伯利亞鐵道の管理權を占めむとしつゝあり獨逸勢力にして果して西伯利亞方面に侵入するに於て日支兩國は先づ其の脅威を被らざるを得ず『デーリー、テレグラフ』が『獨逸政策の目的及び內容は奮て伯林よりバグダットへとの標語に由りて說明せられたるも今や此の標語は變じて最近識僞よりヘラツトなる喊聲を聽くに至れり獨逸は其の征服的勢力を東方に進むるに當り幾多の通路を有す而して露國の全土及び西伯利亞は此の通路に横はるものにして烏港は此の[illegible]點の重要なる最後の目標たり、西伯利亞は結局獨逸の政治的活動範圍に陷るべしとの說は獨逸が西伯利亞鐵道を使用し得べしとの假定に基く議論なりと雖も獨逸の此種の計畫は決して空想的のものにあらず』と云へるは確論にして東方共通の利害を有する日支兩國が西伯利亞の新形勢に對し遠大なる百年の大計を立て東邦の平和を維持せざる可からざる所以のもの此に在り。

馬匹の改良に就て(一)

淺川中將講演

二日京城乘馬俱樂部に於て爲したる淺川馬政局長官の講演左の如し

私は此度朝鮮及び滿洲を旅行することになりましたが別に角立つた調査を爲る譯でもありませず、半ば見學の意味で參つた樣な次第でありますが、京城に著くと豫て東京に於て聞いて居りました京城乘馬俱樂部諸君のお催しに依つて、今日は會員諸君の乘馬を拜見する機會を得、非常に愉快に感じました。尙今日はこれより馬に關し自分の希望を諸君の前に申上げる事になりましたが、至つて話下手でありますから、お聽苦しい點が多からうと思ひます。どうか暫時御靜聽を煩はします。

自分は十餘年來中央部に於て馬政の事に携はり、日露戰爭の際、は馬匹の補充に就いて非常に

△苦い經驗を　有つて居る

其の後馬政局設置せらるゝや馬政に關する緣故により引續き其の事務を擔當する事になり。日本の馬匹改良に從事して參つた次第でありますが、馬政局の方針は、先づ日本內地の馬を相當に改良して、平時に於ける產業上の利益を增進するが主なる目的である。御承知の通り、日本固有の馬は、東北及び九州方面は或る程度までの役に立つものが多いけれども、其の他の地方の馬は、農業上に使ふにしても若くは工業上に使ふにしても甚だ不充分である。勿論舊來の農に依れば、矮小なる體格の馬とも相當役に立つたのであらうけれども今日の農業に於ては到底さう云ふ馬は役に立たない事に考へ及んで來たのである。其の譯は舊來內地に於ける農法は多く人力によるもので人力によつて

△大半の農事　を成遂げたものであり、馬は先づ背に荷物を積んで運ぶ位が利用の最たるものであつた。併しながら、斯の如きは今日以後の農業に於ては許し得られざる狀況であつて、農事は或る一定の地積より成るべく人力を勞せずして多量の收穫を得る事を眼目とすべきものである事は今更言ふまでもないのである。然るに現今に在りては一方に於て工業が非常に進步し來つたと云ふ關係上人力を要する事が段々多くなつて來た。茲に於て乎農業方面には成るべく人力を省き、動物の力を之に利用するの必要が起つて來たのである。故に今日以後農事に動物の力を利用する事は益々多くなるであらうと考へられる。農事に動物の力

△殊に馬の力　を利用すると云ふは、どう云ふ事になるかと申せば、詰りは鍬を牽かせるに歸著する。鍬を牽かすとせば所謂挽曳力が充分でなければならない。舊來の樣に馬背に依つて貨物を運搬する丈けであるならば、矮小なる馬でも事は足りるであらうが、鍬を牽かせるとなると、挽曳力が強くなければならぬ。斯うなると舊來の馬では到底滿足が出來ない。仍て之を出來得る丈けの程度に其の體力を增進せしめんとするのが、即ち產業上の必要から、起り來る事である。既に產業上の必要より、夫程迄に體格を改良し得たとすれば、軍事上に於てもこれで充分であつて、一旦有事の日に於て優に軍用に適す[illegible]のである。馬匹の改良は軍事上の

△必要に迫ら　れたのが近因ではあるけれども、併しながら其の標路は矢張り產業上の利益を增進するのが本來の目的である。扨て日本內地の馬の數はこゝ十年由は殆んど居据わりで、是れ以上多く增加せしむるは困難事であらう。但し日露戰爭以後は百三十萬頭に減つたが、之は戰爭の結果で最近四五年は日露戰爭當時に比して稍增加はして居るけれども、夫れ以上の增加を見ないのは頗る遺憾である。然るに歐洲大戰に於て馬は如何なる働をして居るかと云ふに、彼の文化の進んだ各種の機械を利用する各國に在りて、馬は軍事上多大の働を爲して居るのである。

獨逸の產業竝に商權擴張策(十三)

植民政策(七)　賀田直治

故に久しき以前は兎に角、日露戰後に起りたる露國民の國民的自覺と共に、露國に於る外國人の事業及び資本中獨逸人の資本及び事業は先づ第一に露國人より排斥せらるべき筈なるに然らずして却つて露國と同盟親善國たる佛國の資本及び事業が英國諸國の夫と共に一時排斥せられ、獨逸人の事業及び資本が少しも排斥せられざりし如き現象を呈せるは、一は獨露兩國の政策上より起りたる現象ならんも、是畢竟獨逸國民は地理的關係上、常に露人と接觸し露國民中に自己と同種の民族を有するのみならず、歸化して露國臣民となり、社會の上下に瀰漫せる自國人を利用し諸般の緣故を以て官邊公署民間に喰ひ入り、各種の利便優越權を享受し年を經ると從ひて益々能く露國の事情に精通し、露人を解し其の長所及び短所を詳にし、露人の國民的自覺其の自負心を傷けずして能く其意の存する所を察し、之に迎合し其弱點につけ入り、周到なる注意を以て事業を進めたるに因るなり。

斯の如く獨逸人は深く露國に侵入し官界財界の上下を通じて其の手の及ばざる處なきに至れり。故に其の事業經營上、都合惡しき露國法規命令等は表面及び裏面より諸種の手段を講じて之を撤去改廢せしめ、自己に有利なる新法規命令を發せしめたるの實例算ふるに遑なし。夫の露國都市に於ける電燈實習規定の如き、例へば電氣附屬品供給者たる獨商の利益を保護するの目的を以て作られたる其の一例なり。故に露國市場に於ける獨逸商人の勢力は近年倍々增大し這般の戰爭開始當時に在りては、露國市場は全然獨逸商人の左右する所となり、恰も一種の獨逸商業植民地たるの觀ありたり。開戰後四年の今日露都及び莫斯科を訪問せる吾人の如きも、正に其の然りし證跡を見ることを得たり。一例せば戰前獨逸語が露國に普及し就中商業中心たる莫斯科に於ける商用語が、獨逸語なるを見るも亦其の然るを知るなり、獨逸商人は露國に對し、斯く根帶深く且廣汎なる侵蝕をなし自己の商業植民地の如き態度にて事業を經營し得るを以て、其の經濟關係最も密接なるに拘らず、他の諸外國人の如く經濟的接近及び仲介機關たる商業會議所又は兩國合辦銀行等を特設して、之に依るの必要なきなり。換言せば露獨商業會議所又は露獨銀行の設置を見ざるは、蓋し露獨間の經濟關係は既に是等仲介機關援助機關の手を藉る以上に密接なれるが故なり。將來に於ても此の種の機關を有するの必要なかるべし。

滿洲里の近況

邦人三百人▽市內平穩

此程滿洲里より歸來せる某氏の談に因く滿洲里の人口約一萬人中現在日本人三百人あり此內には奧地より引揚げたるもの二三十名加はり居れり新聞紙上にては混亂の情態にあるが如く報せらるゝも居住民にとりて何等不安なく生活し居れり唯露貨の變動常なく一時は九留迄下落せるも現今五百三十留迄騰貴し居れるが物資は缺乏に至らざるも非常に騰貴し貨物の運賃人夫賃は七倍となり理髮料一回二留入浴料は八十錢にして馬車賃は一二町の近距離と雖も一留にして夜間雨天の際は五留を要す日本人の食料は朝鮮米を主とし二斗入卅四五留なるが一時は六十留に達せる事もありしが黑麵麭十斤三留にして割合に安價なり奧地は食料購買に制限あるも滿洲里にては無制限に購求する事を得鐵道は多く軍需品の輸送に使用せらるゝも貨客混合車にて一日三回往復しセミヨノフ軍の進出せるオルワン迄運轉して引返しつゝあり從前は歐洲と連絡ありたるも近來過激派とセミヨノフ軍の戰鬪にて一度敵地に向へる車輛は兩軍とも再び返さざるを以て全く運絡を斷つに至れりセミヨノフ軍は三千人位にて殆ど部分は支那人を雇傭し居れるがイルクック迄遠征の希望なる由なるも目下物資に窮し居れり過激派にては黑龍鐵道の分岐點たるカルムスカヤを嚴守し獨逸捕虜も加はりて砲の操縱に當り居れり兩軍とも捕虜を虐殺し木に吊り下げ又は牛殺しの儘穴中に埋沒しつゝあり

書感

八十九翁　中洲　三島毅

春風吹滿大皇洲。微事何曾累廟謨。西結佛英東結米。依然萬古護金甌。

[illegible]

次鷗外森博士寄示韻君曾就依田百川面學百川則天山先師同門亡友也

八十一翁　藍田　股野琢

久宦明階愧鵷班。雲間雙闕日登攀。聞君從學於吾友。彷彿師恩高似山。

[illegible]

鷗外　森林太郎

南[illegible]蒼海[illegible]毛斑。高躅[illegible]容後進攀。聞說九師深契在。同擕几杖事天山。

[illegible]

吉野雅詠　節一

七十七翁　南岳　藤澤恒

白[illegible]處寺如紅霞。山櫻自古屬僧家。[illegible]鯨吼破亂離夢。春陵三千年外花。

[illegible]

七十八翁　鳳洲　土屋弘

觀心寺拜楠公肖拜遺影

杉檜陰森雲欲[illegible]。觀心寺裡斷碑[illegible]

[illegible]

豫告

竝行線(小說)

瀧閑村

輕く抛げた石でも時に大怪我をすることがある。心無く云ひし一言が、永い生涯に越されぬ障壁を築くことも少くない。我はるべき機會は常に逃げ去つて、原因と結果とが縺れ合ひ絡み合つて引摺つて行く。悶ひさうで悶はず、而も相並べる二線は悲しい運命を載せて竟に何處まで奔らうとするか

ホテイビール

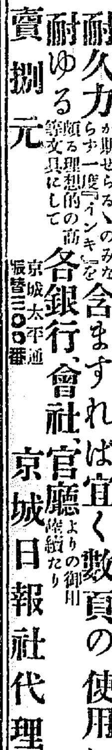
ホテイビールは品質風味醇良無比
何卒御愛飲を乞ふ

釀造元　旅順桃園町　滿洲麥酒釀造所
發賣元　滿洲殖產株式會社

金銀賞牌廿四個受領

なるほど　賞讃されつゝある
美味である　滋養がある　と
蜂印香竄葡萄酒
よく味つて見て下さい！
必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升
每食前一杯づゝで元氣健康を增進す
蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を原料とし補血强壯料を主成分として精製せる醫藥品なり　到る處の藥店酒店にあり
東京本町　近藤利兵衞

米國製　持殊　正十四金ペン　創案自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン



定價　金壹圓九十五錢
進步的經濟的文房具の需要日に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金『ペン』先を裝する軸エボナイト製に到りては唯あるのみ尙其裝置せし『ペン』の背後に密接する特殊創案の筬入物によりて金ペン先の耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の文具にして各銀行、會社、官廳より御用を蒙り
賣捌元　京城日報社代理部　京城太平通　振替三〇〇番

廣重　東海道五十三次
保永堂版　原寸大　五十五枚揃
橋口五葉編纂監督

豫約募集

在來の復刻品と異れる本書集の特色
一、版初摺(廣重の親しく監督せしもの)に據り在來の複刻品と異り木版の稀品によれる事
[illegible]
▲申込期限　六月三十日
毎月拂　金二圓五十錢
一時拂　金二十八圓
[illegible]
見本　御入用の向は送料共金五十錢送附せられたし
東京神田南神保町　電話本局　振替東京
岩波書店

山形五十雄、村上唯吉共著　富の道しるべ　假十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替京城三〇〇番　日報社代理部

京日案內　普通　一回前金一圓　[illegible]　▲申込後中途解約中止の節は料金不返戻　▲六回以上の御申込は特に割引のこと　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず　▲御申込の番號御記入を乞ふ

普通
◉年齡三十五歲以上裁縫の出來る者至急入用

新町　君のね　163

配達人　至急入用希望者は履歷書携帶本人來談あれ　黃金町二丁目　京城新聞社

◉乳母入用　但御預け致しても宜し　(電話六九八番)　太平通り二ノ四五　更科支店　138

生後二十日男子にして血統正しく壯健なる者愛兒の方に進りたし　(姓名在社)　142

●いり雁各種御販賣　地方は鐵道便にて送る　京城府壽町二九　壽堂豆店　154

京城名物有は生々酒は白鶴夏向御一酌は旭町一丁目出雲屋に限る　鰻まむし本店　電話一八二五番

番外
◉締切　朝鮮藥學校入學志願者は六月五日迄に願書提出せらるべし詳細は事務所(新井藥房)にて受附の際指示す　朝鮮藥學校設立事務所　161

店員入用　年齡十七八歲より廿五六歲迄の者三名入用　但保證人を要す　京城本町五丁目四十八番地　峯岸食料雜貨店

魔法瓶　大中瓶　取替　京城本町一丁目電話一三四番　高木旅行用具店　165

求婚　良家の處女年齡二十六初婚容姿普通高女卒業裁縫及家政等十分熟達す商工業家に嫁したし照會は[illegible]京城日報[illegible]局へ

輕便鐵道終點(价川驛より平北熙川)間乘合馬車開始　▲平南軍隅里(价川驛前)　安滿運輸商會　152

製糸女工募集　十四歲以上二十二歲迄月收拾圓以上現在女工三百五十名あり(京城三坂通南廟横)　合資會社　齋藤製糸社　98

靜岡名產　わさび粉　四分間湯で溶し　香色辛共に生わさびと同時使用し得る無比珍品一瓶三十錢　京城永樂町一　中野商店　63

◉はねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　24

◉道路擔當主任二名及社員招聘　經驗の有無を問はず自筆履歷書持參委細面談　京城黃金町武丁目　有隣生命保險朝鮮支部　165

獨三師團全滅
カンチニーの米軍大捷

倫敦に達したる報道に依ればカンチニーに於て米軍大捷し同地に對し六回に亘る獨軍の逆襲は悉く擊退され獨軍一個師團は全く行動の自由を失ひ二個師團全滅せり（倫敦電報）

佛軍敵を擊退す

獨軍はマルヌ河の北十三哩に亙る方面を占領せるもソアソンの南部を通過する能はず佛軍はショーダ及びヴイエルジーを奪還し敵をクリーズ河方面へ擊退せり（巴里電報）

セミヨノフ コルチヤク 暗闘結果
セ隊長側の有利に問題解決す

重要問題を擁して哈爾賓に來れるセミヨノフ隊長は死を決して自己の主張を容れしめんとの決心を爲しコルチヤク司令官の身邊を爆彈を以て腹心の部下に附纏はしめ又コルチヤクは機關銃をセ隊長一行の假泊所附近に配備して是れに對抗し兩者の暗闘甚しきより我中島少將及び黑木大尉調停に奔走の結果セミヨノフ隊長の有利に解決し東淸鐵道武器庫にありし小銃八百彈藥九百箱砲彈多數を得三十日夜滿洲里に向け輸送せり而してコルチヤクはボクリヨに移住し次席たるプレシコーフ其任務を執る事となれり我前駐露武官荒木中佐は三十一日哈爾賓に來著せり（長春特電）

小露革命運動熾烈

小露西亞の革命運動は今や諸方面に擴大し農夫は森林に火を放ちて收穫物を全滅せしめ水兵の一團は黑海艦隊の一部を破壞すべき計畫を立てたり獨軍はノヴロンスクを占領したり（桑港電報）

過激派の大動員

過激派は後貝加爾及び黑龍江に對し大動員を行へり（哈爾賓電報）

ブ市支那商人同盟

ブラゴエチエンスク在住支那商人の全部は過激派の制定したる定價表に依り物品を販賣するは餘り廉價にして堪へ難き處なりとし是れに反抗する爲め三十日同盟して營業を全部休止せり（哈爾賓特電）

▲船員勞働者の困窮

ブラゴエチエンスクにては過激派の手に沒收さるゝを恐れ汽船の來著全く杜絶せる爲め船員勞働者は職を失ひ物資缺乏の結果窮民の不平盛んにて暴徒起らんとする形勢なり（長春特電）

露在留邦人の監視

イルクツクには邦人僅二十名あり是等の邦人に關し露人は多大の注意を拂ひ監視を爲し居れりチタにも百名の邦人あり（哈爾賓電報）

獨軍突進

伯林公報に據れば獨軍はソアソンの西方に於て五哩の突進を爲したり（桑港電報）

南洋民政長官

南洋民政長官新設の件近く閣議を經て發表さるべし（東京電報）

青木中將著京

支那軍事顧問青木宣純中將は二日歸京せり（東京電報）

床次氏南下

支那各地漫遊視察中なりし政友會領袖床次竹二郎氏は四日午前六時半著列車にて大連より來安直に南下京城に向ふ豫定也（安東特電）

邦人の滿蒙

製造等に營造の必要なる爲にして（に少からざる支障を來す）至れり の危險ある爲容易に著手し難く止むなく外國の例に習ひ……然るに一方蒙古に於ける……なせり斯の如き情勢なるを以て今……蒙古管轄下工業を開始するに至……左る事なく品質優良なり之が爲……實業家は多く……大の契約をなし三國公司（關西某有力者資本）によりて輸出さるゝ……見小滿四十餘を日支合辦にて經營……す可く蒙古王との談判調印せらる……いに至れり今回の事業は蒙古に對……五營にして內營業用百十三臺自家用四十二臺なり之を所在道別に見……

◉陸軍異動發表
朝鮮部隊關係者

六月一日附を以て陸軍大異動ありたるが內朝鮮部隊關係の者を擧ぐれば左の如し

補步五八聯隊附 步七四聯隊附步兵少佐 佐竹彌榮
補步七四聯隊附 近衞步二聯隊附同少佐 松本小次郎
補步三三聯隊附 步七八聯隊大隊長同少佐 小林道生
補步七八聯隊附 朝鮮軍司令部員同少佐 上坂信男
補步七八聯隊附 第一七師團參謀同少佐 山本松雄
任陸軍步兵中佐 補步七七聯隊附 步七三聯隊大隊長少佐 國分習也
補步二聯隊附 步一聯隊附同少佐 中村正夫
補步七三聯隊附 步七七聯隊附同少佐 曾我演雄
補步三九聯隊大隊長 步七七聯隊附同大尉 高橋德次郎
任陸軍步兵少佐 補步七七聯隊附 第一九師團經理部員三等主計正 吉井德藏
補第一五師團經理部附 第一九師團經理部員三等主計正 正木直江
補第一九師團經理部附 步四〇旅團副官步兵少佐 二宮季夫
任陸軍步兵中佐 補本鄕聯隊區司令部員 步八〇聯隊附少佐 伊木莊五郎
補步四〇旅團副官 近衞步三聯隊附同少佐 西良太郎
補步八〇聯隊附 朝鮮軍兵器部員輜重兵少佐 脇九一
補近衞輜重兵大隊附 朝鮮軍經理部員二等主計正 松尾經喜
補大阪陸軍被服支廠長 朝鮮軍經理部員三等主計正 伊集院俊彥
補朝鮮軍經理部附 第九師團經理部員三等主計正 今城善助
補朝鮮軍經理部々員

◉辭令

三日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

陸軍砲兵少佐 中村孝一
補第十九師團兵器部長
陸軍砲兵少佐 種田俊太郎
補關東都督府兵器部長
朝鮮總督府事務官 尾崎虎一
任內閣恩給局書記官

◉辭令

六月一日附を以て左の通り辭令ありたり

總督府屬 牧瀨伊左衛門
任總督府辭視（七等）
總督府屬 信田芳
依願免本官（三十一日附）
任總督府辭視（七等）

◉總會を終りて
某醫學會幹事談

朝鮮醫學會總會は前後二日を通じて豫期以上に盛況を極めたのは予の會員と共に衷心より愉快とする所である

◆殊に第一日の如きは長谷川總督、松川軍司令官も臨場せられ熱心に聽講されたと云ふ事は獨り本會の光榮のみに止まらず實に朝鮮醫學界の歷史に特筆大書すべき事であらうと思ふ總督は已むを得ざる公用の爲め約一時間にして辭去されたが軍司令官は午後も尙引き續いて聽講された其熱心さには流石の吾々も却つて恐縮した位

◆又今度の總會には東大の岡田博士九大の三宅宮入兩博士京都の高木博士など刀圭界の碩學が態々海を超えて來臨された外滿洲からも野浦、盛、横森の三大家が袂を連ねて列席せられたが斯くの如きは從來の總會には全然無かつた事で實に學界空前の盛事と云ふべきであらう

◆倂之と共に最一つ愉快に堪へぬ事は從來列席の會員は七十名內外に過ぎず夫も主として官邊の者であつたが今度の總會には民間からも進んで列席した事である斯樣で列席者總數百五十名に達し例年の倍數以上を算したなぞ之も確かに學界の盛事であらう

◆要するに今度の總會は實質の上から云つても數の上から言つても全く空前の盛況であつた來賓諸大家並に會員の講演が如何に有意義であつたかは別として兎に角以上の事實丈でも會員に取つては非常な愉快である

◉繩叺莚生產高

大正五年十一月より同六年十月迄の一箇年間に於ける繩叺莚の製造高を聞くに改良叺九百七十一萬二千一百九十八枚在來叺三百九十八萬七千三百五十枚改良莚一百三十二萬三千八百四十九枚在來莚百八十九萬八千四百十六枚繩二千七百七十一萬五千三百三十二貫にして之を前年の製造に比すれば改良叺は八割七步改良莚は四割五分在來莚は一割一步繩は四割七分の增加を示し在來叺は二步の減少を見たり繩莚及び叺の製造は農家の副業に好適せるに拘はらず未だ自給の域に達せざるを以て各道に於て極力獎勵を加へたる結果本年の生產高を前年に比するに各品を通じ京畿道は約十一割全羅北道は四割忠淸南道は十四割忠淸北道は九割全羅南道は四割五步慶尙南道は六割五步平安南道は二十一割平安北道は十二割の增加を示すに至り遠からずして自給の實を擧ぐるに至るべし製造總數の內販賣用に供したるものは改良叺八百二十萬八千五百七十二枚在來叺十九萬六千百三十五枚改良莚四十九萬五千五十六枚在來莚十二萬六千百六十三枚繩四百三十五萬六千八百七十四貫にして改良叺は總數の八割五步改良莚は三割七步繩は一割六步を賣却して農家の收入となれり殊に本年は價格一般に高値を唱へ例年の倍值を示せる狀況なりしを以て此副業に依る農家の總收入は概算百八十萬圓に達せり

◉改良稻種普及

東拓所有小作田四萬五千町步中改良稻種の栽培適地は調查の結果二萬八千町步となり居れるが右の中既普及地は大正六年度に於ける普及面積五千三百町步を合し從來の八割強乃ち二萬三千町步に及び本年度に於て栽培を普及せしむべく目下各出張所にて手配中に係り一應その全部に普及を完了する千町步に對してはその地質並に品種等に關し第二期調查を開始し益々之れが普及に努むる方針の由

◉瑞典米國協定成立

瑞典は米國との協定成立の結果は米國及び其聯合國に對し四十萬噸の船舶を讓り渡す事となれり（華盛頓電報）

◉孫氏汕頭軍隊慰問

孫逸仙氏は目下汕頭にあり其目的は陳炯明氏部下の軍隊を慰問するにありと稱せらる（上海特電）

大阪だより
阪神糖界大波瀾

昨來粉界の解合不味より混沌たる形勢を誘致せる矢先き臺灣糖減收の確定と內外需要に對する供給力の不足に伴ふ先高見越しの爲め糖界市價は忽ち思惑買進みに促進されて狂奔的の媚態市況を演ずるに至れり大阪市場並に神戶市場をして混亂狀態に陷らしめ賣買相互大手筋の暗中飛躍は目醒しきばかり猛烈なる勢を以て手合相場を釣り上げ市價は先物思惑買占めに強調を持續し殊に瓜哇糖の輸入困難和蘭船の徵發等の爲めに刺戟せられ前途尙ほ一層奔騰の氣勢を示さんとせしが此間五月限買にて和蘭船の入港に伴ひ瓜哇糖の輸入左まで困難ならずとの反對の見解にて弱氣を抱き居りし向は盛んに手持品を賣り進みたるが然かも買方大手筋は受渡しを迫りて止まざるため遂に双方値段の解合を見るに至らず玆に

▲受渡しの紛擾を釀生せる折柄四月上旬より買煽られ同月中旬に於て期近物十六圓乃至十八圓臺てふ空前の高値を實現せしもの其の後豫期に反し蘭船徵發も一種の牽制策に止り事實に於て依然瓜哇糖の輸入容易にして入荷相次ぎ又マニラ糖も豫想外の入津に氣配忽ち軟化せると共に糖界の默勢は頓に一變し賣方の不振を招き臺灣分蜜の如きも氣迷ひて先物十九圓二十錢と崩落し赤糖マニラ糖共に二十錢安を唱へらるゝに至れり爾來各糖何れも手合殊に二十錢乃至卅錢の低落を告げ商談頗る不振を呈し昨今は去三月の最騰時代に比し二圓五十錢方の暴落をなせる

▲大波瀾の渦中に內整理たる石田商店の如きは遂に敗日前に增田屋に反抗して盛んに賣進みの止むなき醜態を暴露するに至り爲に權利者の集合を求め善後策につき協議する所ありたるが目下當月限受渡しの端境にあるを以て未だ具體的交涉成立せず且つ六月限の整理未了にあるのみならず大波瀾の後を受け事業界市況が今後奈邊に落付くやは俄に逆睹すべからざるものあるの現狀に徵して或は公然整理を發表せずして應急處置を以て一先づ五六月限受渡しの解決を見るやも計りがたく一說によれば受渡の紛擾より延て形勢の不利を看取するや逸早く警戒手當されしが故に五六兩月限受渡し見合金は十萬圓內外に止まるべくさればこの際債權者の態度も左まで強硬に出でざる模樣なれば破綻を演ずるが如き事なかるべしと觀測せらる（大阪支局）

◉移民應募多し

目下募集中の東拓移民に對する申込みは內地下の關出張所に對し五月末二百數十戶本社に對し數十戶の申込みあり合計三百戶に達したるが每年四五月頃の申込みは募集開始匆々の事とて甚だ少なきを例とするも本年既に前述の如く多數となりしより見れば本年の應募數は意外の數に上るやも計られざる如し

◉東拓社有地現況

東拓の朝鮮に有する土地の面積に付最近支店の調查を開くに總面積は田五萬零七十七町步畑一萬九千四百餘町步山林二千二百八十町步雜種地二千八百九十五町步合計七千四百七十三町步にして最も多きは全羅南道の九千八百町步黃海道九千六百町步京畿道の五千百町步にして畑は京畿道の三千八百町步黃海道の三千七百町步等なり

◉公會堂寄附金

京城商業會議所新築に伴ふ公會堂併設問題は其後釘本副會頭及び大村書記長專ら各銀行會社首腦と協商を重ねつゝあり多數實業家の意見は時機尙早又は規模の縮少を主張し容易に擽らざりしが數次接衝の末實業家側より建築するに於ては應分の寄附金を爲すべしと略確定するに至りたるを以て會議所側も右金額を規準とし鮮銀滿鐵東拓殖銀行會社の寄附金を基礎とし之れに各銀行の一萬圓を加へ殘餘は個人の寄附金を仰ぐべしと

◉米國特別運賃

米國鐵道運賃値上げ及び輸出入貨物特別運賃廢止の件に關し其筋への著電に依れば米國鐵道總監は五月二十七日命令を發し旅客運賃は一哩に付三仙又國內貨物運賃は二割五分方（物品に依り多少の差あり）引上げ前者は六月十日より後者は六月二十五日より實施し尙ほ輸出入貨物特別運賃を廢止し總て內國貨物の賃率に依るべき旨發表せりと

◉露貨漸落

東滿鐵道にては五月三十一日以降當分の內日滿聯絡貨物の運賃料金徵收に適用すべき東滿側日露貨幣換算率を百圓に付き五百留に改むべき旨滿鐵會社に通知ありたり

◉漢銀株拂込通知

漢城銀行にては來る七月末日迄に株金第三回拂込（一株に付金拾貳圓五拾錢）六萬株計七拾五萬圓を拂込むべく六月一日附を以て各株主に夫々通知を發せり

◉劍拂浪普通驛

京元線劍拂浪洗浦間に設置の簡易停車場劍拂浪驛は十日より一般普通驛として營業を開始し一般聯絡貨物取扱驛內に右驛を含む事となれり

◉尾藤少將入京

鮮滿幹部演習のため來鮮したる尾藤少將は三日午後九時入京巴城館に投宿し四日午前九時五十分北行列車にて奉天に向ふ筈

◉金谷大佐通過

參謀本部課長金谷大佐は三日午後九時京城通過滿洲に向ひたるが歸期は本月下旬ならんと

◉吉野氏歡迎會

前本社長吉野太左衛門氏は此程入京し滯在中なるが京城民間有志の發起にて六日午後七時より花月に於て同氏の歡迎會を催す由會費金五圓也と

◉中村庶務局長歸期

支那旅行中の鮮銀庶務局長中村光吉氏は二日大連上陸の報本店に達せしか多分五日若くは六日頃歸任すべし

人事消息

▲阿部忠正氏（東拓土木課長） 西鮮出張中の處二日夜歸任
▲津村其之助氏（鮮銀平壤支店長） 三日夜入京不知火旅館へ
▲近藤虎五郎氏（日本麥酒會社助役） 同上巴城館へ
▲田中半二郎氏（光州慈惠醫院長） 三日夜退京平壤へ
▲杉原新吉氏（大邱實業家） 滯京中の處三日朝元山へ

帽子が三割も安く買へる
東京帽子製造組合直卸部開設

直卸部は帽子製造業者の聯合販賣所なり問屋口錢仲介人手數料等含まぬ製造當時の値にて仕入御希望の各位は製造人たる當組合と提手せよ

諸日用品 百貨商品 雜貨（製造業者紹介し委託販賣に應ず）

【特約募集】御申込み次第定價表進呈す

東京市淺草區小島町十二番地 東京帽子製造組合 電話下谷五二五〇 振替四〇三一七

朝鮮及滿洲
六月號出づ（第百三十二號）每月一日發行 一部金參拾五錢（送料一錢半） 半ヶ年分二圓 壹ヶ年分四圓

▲精力の節約と善用……釋尾旭邦
▲世界の大局と滿鮮の現在及將來……大隈侯爵
◎歐洲戰の活教訓……松川軍司令官
◎世界的變亂の帝國民に與ふる暗示……美濃部鮮銀總裁
◎戰爭の婦人に及ぼす影響……下田文學士
◎國民道德の大綱……井上文學博士 ◎歐洲戰と露西亞民族……山崎理學博士 ◎現在の支那と未來の支那……今井參事 ◎殖民地教育私議……幸野文學士 ◎歐米視察管見……河野醫學士 ◎亞米利加土產（其二）……川上技師 ◎滿田團長を訪ふ……一記者 ◎攻界瞥見……一記者
▲平凡なる日支軍事協約……釋尾旭邦
◎朝鮮庭工業普及策……野田技師 ◎西鮮の諸工業……上田滿鐵秘書役 ▲南滿沿線事業界 ▲內蒙古步るき……岡田 ▲千萬地……松山工學士 ◎初めて大相撲を見る……可水 ◎顏と背骨から見たる大連の紳士 ◎東京通信……飛魚漁郞 ◎工業と職工の東京……波生 ◎口ベーチ
◎總督府醫院の看護婦評判記……七草生
△女子大學出身の人々……法學士
▲京城の女醫調べ……ひばり
△滿妻春抜の日記（其二）……長城生
▲小說 櫻の影……須賀子
▲趣味の將軍連 ▲方山の現況 ▲訪問印象記 ▲滿鮮事業により ▲鑛業權登錄月報 ▲珍談情話 ▲南鮮めぐり ▲文藝 ▲滿鮮問答

發行所 京城南山町一丁目一四 朝鮮及滿洲社 電話一二五〇番 振替京城一三一
尙本社は旭町より南山町一丁目十四番地に移轉

桑種
京原產地へ社員出張、精選種製造中なり
◎六月初著荷値段御照會願上候
京畿道水原停車場前 株式會社 富國園 電話一三八番 振替口座二五三番

株の暴落！放資の好機會！！
【弊店營業諸機關】
▼定期部 定期の御注文に對しては確實便宜敏速に御取扱可申候
▼現物部 現物御用命の方には賣買共に薄利を以て御取扱可致候
▼信託部 有價證券擔保御融通可申又現物御賣買の節も御融通可致候
尙御不審の廉は弊店調查部に御問合被下候はゞ詳細御回答可申上候
公債株式現物問屋 株式取引所仲買人 (ホ) 細野傳次郎商店
東京市日本橋區坂本町二番地 電話浪花 四八番 四〇九番 五〇〇番 五〇三番 長 六八九番 六九八番 六〇一番 五〇二番 振替口座東京一七七番 電信略號（◎ホ）又は（ホ）

易斷
高島易斷本部主事高島香明先生出張
受付 午前八時より十一時まで午後三時より十時まで
場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話一五七二）
神易協會 高島易斷本部

購買入札
特等米百五十三石外二點
右購買ス詳細ハ大正七年六月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
六月三日 朝鮮總督府

合資會社高橋農園ニ對シ債權ヲ有スル者ハ八月二日迄ニ申出相成度候
六月三日 合資會社高橋農園淸算人 高橋章之助

◎有給外務社員招聘
◎女子內勤事務員採用
報國公債 勸業債券月賦販賣 株式會社 朝鮮支部 京城若草町百六番地 電話三〇一番 振替口座京城六五九番

◎恩給 年金は年額の四倍半を立替す金利は月百圓に付壹圓貳拾五錢の割合とす返濟方法は濟崩に付發金利用法として最も有利の方法也
◎公債債券現物賣買
◎有價證券擔保貸付
京城府若草町一〇六 西村商會 電話三〇一 振替京城六五二番

質 大塚質店
京城明治町二丁目 電話一八四九
◎戰慄すべき火災の危險に遭ふ前に
◎多額の融通り御面倒なし

最新刊
朝鮮鐵道旅行案內 京城管理局編纂
詳解電氣大辭書
最近乾式試金術 永野
實驗難症の遺傳 外山龜太郎
謠曲新釋
大阪陣
生命の不可思議
青島攻圍陣中記
續金色夜叉 長田幹彥
縮刷明暗 夏目漱石
中流生活の改造
西洋草花栽培法
日蓮主義概論
使ふ人使はるゝ人
模範作文辭典
愛と憎み
算術自由自在

京城本町 大阪屋號 振替京城二五七 （本店）東京（同店）大連・旅順

◇化學工業の迅速なる發達[illegible]に伴ひ曾て工業亦發展を促進さるゝに至れり硝子製造、製紙業、石鹸[illegible]要增加に連れ米國及び埃及より輸入しつゝありしも近來殆んど杜絕の情態となり製絲、硝子、石鹸工業[illegible]增田、三井、大倉等の著眼するに至れり然れども蒙古の地たるや生命[illegible]鈴木[illegible]の手によりて實行する事に決せり[illegible]東都督府に於ても同樣の計畫を[illegible]一方は土砂を混ずるも太布條產は地所有者たる天惠公司と五箇年間[illegible]き出すを採集するものなるを以て[illegible]せる爲愈々輸出好望となり曹達灰を產する新發[illegible]屯附近に於て曹達灰を產する[illegible]大正七年五月末現在當局の調査に依れば全鮮自動車數は合計百五十[illegible]十二臺江原三臺咸南四臺咸北一臺なりと

◇コンノート殿下と元帥杖

元帥杖捧呈の爲に英國皇帝陛下御名代としてコンノート殿下御來朝、途上無事この程米國に御安著の事は既報の通りで、殿下今回の御來朝は三回目にあらせられ今度も御旅館霞ケ關離宮に一箇月位は御滯在になるだらうとの事です、御使命の主なる捧呈の元帥杖は、日本には無いが、英佛獨では元帥の稱號を有する軍人の必ず持つべき杖で、換言すれば元帥の徽章で、長さは一尺五寸から二尺、直徑一寸五分位のモール狀の上端には王冠を飾つたもので野外にも用ひられるが今回、我陛下に捧呈せらるゝものはきつと金銀を鏤めた立派な寫眞の左の樣なものだといふことです、右は●●●●●コンノート殿下、御帽と御軍刀は夕刊所載の如く建川少佐が捧持して到著しましたが更に十八日御眼と御長靴が到著する筈です

珍らしい皆既日蝕（上）

今年見損ふとこんど度は大正二十五年でないと見られない……

東京天文臺は鳥島で觀測

―五十六秒間に一切の研究をする―

來る九日に皆既日蝕があることは天文學者ならずとも既に一般周知の事實であるが京城測候所の高橋所長は之について語て曰く九日の皆既日蝕は今年が過ぎると今後十八年を經た大正二十五年でなければ見る事の出來ない珍らしいものなのである

◆英國航海曆 の圖面に依るとこの日蝕を見ることの出來る區域は南洋ニューギニヤ北東岸からボルネオ、支那中部、西伯利北西部、アイスランド、大西洋西部を經て南亞米利加の北部に至る線とニューギニヤ北東岸からサンドウイッチ諸島を經て南亞米利加の北部に至る線とで幸ひ

◆日本全國も 此線の中に包れてゐるそして東經一五〇度二〇分三、北緯一六度二分七（布哇附近）が最も早く見られ最後に見られる地點は西經九四度五分一、北緯一六度三分一（暹羅附近）である我國で最もよく觀望の出來る地點は東京府下の鳥島で其他の土地では到底完全な皆既蝕を見ることは出來ないそこで東京天文臺では此日特に

◆技師を鳥島 に派遣して觀測に從事せしむる事になつて居るがこの鳥島は八丈島の屬島で青ケ島と小笠原島との中間にあり橫濱から約三百海里を距てゝゐる、天文臺からは精巧な望遠鏡其他觀測に必要な一切の器械を持つて行くことになつて居るから天候さへ好ければ充分な觀測が出來ることゝ思ふが何しろ皆既蝕は非常に

◆時間が短い 長い時で先づ六七分であるが九日の皆既蝕は同島で五十六秒と云ふ短時間であるため此間に出來る丈多くの研究を遂げようとするのであるから餘程注意しないと或は不首尾に終るかも知れない序でに今度天文臺から技師を派遣する鳥島は明治三十五年八月上旬に大爆發を起した爲め百二十名の島民中たつた一人だけ八丈島に

◆徵兵檢査に 行つてた青年を除いて其他は全部死滅したと云ふ悲慘な歷史を持つてゐるその後再び人間が住まふやうになり今では二十名位の住民が牧牛の傍ら野菜を作つて生活して居る相であるが飲料水がないので住民は皆雨水を蓄へて飲用してゐると云ふことである

伊太利 火山噴火

伊太利ヴエスビヤス火山は目下盛に噴火しつゝあり（羅馬電報）

立派な藥劑師を養成する

朝鮮藥學校の目的 志願者が却々多い

豫て設立計畫中の朝鮮藥學校は夕刊所報の通り一日附を以つて愈々認可になつたが之に就いて同校創立顧問たる總督府醫院藥劑課長吉木學士は語る『從來京城には

▽藥學講習所 と云ふのがあつたが之は內容も貧弱であり設備も不完全だつたので自然豫期の成績を擧げる事が出來ず卒業生は漸く藥劑師の前期の試驗を受ける丈の資格しか得られなかつた今度の藥學校は詰り此講習所を擴張して藥學教養の眞目的を達する爲めに計畫されたものであるが創立委員

▽諸氏の熱誠 は幸にして當局の認むる所となり愈々其設立に對して認可を與へられたのみならず年額三千圓の補助金迄も交附さるゝ事になつたのは藥學界の爲め誠に同慶の至りに堪へぬ一方創立委員に於ては右の認可と共に只管開校準備を急いで居るが

▽修業年限は 二箇年、從來の藥學講習所にくらべると約一箇年の延長で自然教授科目も多くなつた譯であるが尙之と同時に教授用の標本及び實驗實習用の器械も經費の許す範圍に於て潤澤に備付ける斯くて卒業の曉は藥劑師試驗に應じ得る立派な資格者を養成する筈である』尙每年入學せしむべき生徒は內鮮人を通じ五十名の豫定であるが却々

▽志願者が多 く既に此豫定數を超過して居る相である、但し本月五日迄は尙願書を受付けるとの事だから序に記して置く

心地好さ朝鮮の旅

麥の發育もよい＝日支協約こ支那人＝滿洲の幹部演習は…尾藤陸軍少將の車中談

陸軍少將尾藤友勝氏は鮮滿幹部演習のため三日夜入京したり列車中に訪へば將軍は窓外を指しつ『昨年も朝鮮へ來たが結氷期中であつたから萬目荒凉たるものであつたが今度は何處を見ても

▽青々として 心地が好いので、朝鮮の旅らしい感じは起らぬ、麥も時候の宜い故か發育がよい、內地でも苗の植付けを見たが、朝鮮でもぼつ〳〵始まつたやうだね、年々旱魃に苦しむさうだが本年は灌漑が充分らしい誠に結構な事だ併し忠淸南道あたりは大分松蛄蟖のために松林が荒されてゐるやうだが驅除法は獎勵して居ますか』と頻りに質問した後、『日支兩國の軍事協約を締結せらるゝや眞相を知らない支那人は

△中傷や誤解 のために排日氣勢を擧げて大いに騷いだが、いつもながら支那人の輕擧盲動には困つたものだ、適度の協約の大要は前日外務當局が發表したやうだが根本目的は日支協同して東洋の保安を計るにあつて他に何等の事情も伏在しては居らぬ北方に善ければ南方に惡いんだから至極

△遣りにくい 滿洲の幹部演習は方面は秘密だから言はれないが六日から開始して本月一杯は費るだらうと思ふ』

紳士の體操に就いて（三）

―簡單容易な强健運動―

◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

◇扨之れから私の體操の、各運動の說明をするのであるが、其れに先だつて、茲に、體操の目的と云ふことを一寸お話しする必要があります。今日一般に使用せられて居る體操の教科書では、此體操の目的に就いて色々細かい項目が擧げてあります。◇例へば身體各部を均齊に發達させるとか、或は各機能を完全に發達せしめるとか、或は動作の耐久機敏とか、精神の快活剛毅とか或は規律を守り協同一致を尊ぶ習慣を養成するとか、色々な細かな項目が書いてありますが、中々こんな事で體操の目的が盡せるものでは無いから、私は寧ろ簡單に體操の目的は、●●●●肉體及び精神の常的發達●●●●を向上すると云ふのが、最も適當であらうと思ひます。歸する所は身體が健康で有る爲めには其の各部が常的に向上發達して居ることが必要であり既に身體の各部が如斯向上發達して居れば、其機能の完全なるは云ふ迄もなく、從つて動作の耐久機敏であるのも當然である。◇其れから又精神の快活剛毅とか、規律とか協同一致とか云ふ樣な精神上の方面は、常識が發達して居れば、當然の結果として養成し得る所の習慣である、處で常識は云ふ迄も無く、健全なる常的に、向上發達した精神に於て初めて備はり得るのである。◇此常的なる言葉が非常に意味深長であつて、常的と云ふは學問上で云ふ生理的の事であつて、つまり病的の反對である。常的發達と均齊發達とは少しく意味が異なるので、此點は豫め御注意を願ひたい。◇處が一方體操でやる動作を見ると、或は足を動かしたり、或は手を擧げたり下げたり、或は頭を振つたり或は胸を曲げたりと云ふ樣な、體の部分を動かす動作のみであるが、夫れが如何にして人體の常的發達に、言葉を換へて言へば◇身體の總ての部分を、人間の生活に都合の好い樣に向上發達させる許りで無く精神迄も常的に向上發達させるかと云ふに、之れは容易く說明し得る事柄である哲學上で言へば、精神と肉體との關係は中々六ケ敷事になるが、生物學上から見れば、◇精神と肉體即ち身心は同一物にして決して分離することの出來ないものである。卽ち精神は腦髓の生活機能の顯はれたもので◇而かも腦髓は人體臟器の一つであるから、つまり腦髓の機能卽ち精神は、胃の機能卽ち消化、腸の機能卽ち吸收、心臟の機能卽ち血液循環の原動力と同じ關係であつて、つまり人間生活現象の一部分と見ればよいのである◇如斯は之れを一元論と云つて今日生物學者の專ら主張する處である。之に反して二元論者卽ち宗敎家の側では、肉體と精神とは全く別なもので、後者は假りに前者に宿つて居るので、若し肉體が朽ちれば、精神は彌陀の懷に歸るとは、佛敎信者の云ふ處で、基督敎の信者の主張する處である。◇何れにもせよ人間が生きて居る間は、精神が之に宿つて居るので、而かも精神の宿る處は何所であるかと言へば、其れは云ふ迄もなく腦髓であると云ふことは今日の一二元論者に於ても承認して異れるのであるから、つまり腦髓の健全であると云ふことは、◇精神の健全であると云ふ事に歸著するのである、既に腦が身體の一部分である以上は、他の人體の諸臟器と共に、人體が健全であり得ないのであるが、扨前に述べた人體の部分を動かす動作に由つて何故に人體の諸臟器が、總て向上發達するかと云ふに之れには明白なる理由があります。

釜山遊廓 無理心中か

◇八右衛門桃香を斬る 男は兇行後自首

原籍慶南[illegible]郡[illegible]島村當時慶南統營郡蓉助雜大工職上原島一方渡邊八右衛門は五月三十一日來釜富平町大工大場と僞名し三十一日夜より綠町一色樓に登樓し娼妓

◆桃香事 森ちよ（二〇）を敵娼と爲し引續き流連し居たるが三日午前四時熟睡せる桃香の咽喉部を目がけて白鞘の短刀にて突き刺し深さ二吋に達する傷を負はせ猶逃げんとする後頸部に深さ三吋の

◆重傷を 負はせ尙手にも四箇所の輕傷を負はせて加害者は表より逃走し直に釜山署に自首したり被害者は直に宇都宮病院に入院手當中なるが餘病を發せざれば

◆生命は 取留む可しと因に原因は取調中なるも以前よりの馴染なりし由なれば無理心中ならんと（釜山特電）

夏季が來る 飲料水の注意

◇不良な物を掴まぬ樣にして判別する

◆◆京城で も近頃はアイスクリーム賣の姿を見受けるが此れからは夏季衛生上清涼飲料水には特に注意せねばならぬので警察署では隨時檢査を斷行するが一般市民も

◆◆不良飲料 水を呑まぬやう心掛けねばならぬ簡單な鑑別法は罎を振らずに取上げて見て好く澄んで居れば先づ第一の資格が通つたもの

◆◆溷濁物 が無ければ第二の資格が通つたもの、今度はコップに注ぎ瓦斯が細かに長く立つて厭はしい臭味がなければ始めて及第品と見て差支へなく之に反して

◆◆不透明 で罎の底を上向きにした時沈澱物が降りて來るやうなものは不合格である氷店或は洋食店などでサイダーを飮む時店員に良否を問ふと必ず

◆◆振つて 罎の口を切る斯うすれば沈澱物があつても判らぬやうになるから若し試驗して飲まうと思へば良否を質さずに受取つて自分で試驗した方が宜からうラムネもサイダーと同じであるが何ちらも

◆◆不良品 を飲用すると胃腸を害するから特に注意をせねばならぬと思ふ

漁夫五名溺死

船のみ發見さる

忠南保寧郡鰲川面揷矢島の漁夫洪亡千（三九）外四名は四月三十日全北沃溝郡米面の沖合に出漁中風波の爲め行方不明となり爾來搜索中の所此の程忠南瑞山郡安眠面古南里沖合にて同人等の乘りゐたる帆船が半壞のまゝ漂流し居るを發見せしも乘組員なく未だ屍體一個だに發見せずと

漁船の難破

黃海道瓮津郡南面西秋里姜鎭允（四）外四名の漁夫は百二十石積みの帆船にて五月二十六日午前三時延平島沖合にて漁撈中風波の爲め船體暗礁に觸れて難破し乘組員は辛くも上陸せしが損害約三百五十圓なり

不正漁夫處刑

先頃慶南統營署に逮捕されたる不正漁夫白濱金太郞外六名の內鮮人は此の程統營支廳にて各懲役五箇月乃至七箇月の處分となる

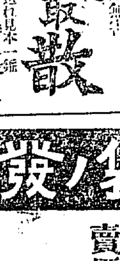
●光彩氏●歡迎淨瑠璃會 神戶の川田光彩氏來京を機とし五日午後一時より本町二丁目常盤席にて素人淨瑠璃會を催す曲目其他は次の如し
上かんや（二本）鈴ケ森 鬼若 菊優上使（鬼十）油屋（翠）大功記十段目（光彩） 三味線竹本奈良梅、野澤吉治

拙者義尹錫禎ヨリ振出シタル六月廿八日期限約束手形額面五百圓及六月十五日期限約束手形額面貳百圓紛失候ニ付御後無効候也 京城府南米洞百八十一番地 金明瓚

原料貸與 職業 代理店募集
遠近男女誰にも出來るバナマ及ゴムの職業有原料貸與製品永久買受契約す利益熟練一圓五十錢迄確實詳細案內書御一報次第進呈す
大阪本町信濃橋東詰 振替大阪一〇七六 東洋物產合資會社

鐵砲は 橫濱の金丸銃砲店に限る（店主 西村潤藏）
（御望みの銃砲名例へば獵銃とかピストルとか空氣銃とか其他夫々御申込になれば完全な代價表呈す）

川魚一式
本日より仕出仕候 京城旭町二丁目電話二〇四六
會席御料理 權平庵 中井ゆく

總監部御認可、衛生無害

イヤナ 取散 ◉郵券七錢送れば見本一瓶
此れより早き法なし驅蠅は蠅軍を一時に殺す室內の空氣中に少量を撒布せば蠅は十分間にて死する保證す
京城南米倉町交番所前 島田藥房 △特約店及行商希望の方照會乞

專賣特許出願中 新製 毛綿賣出し
本品の特色
一、溫かき事は普通の蒲團綿より幾層倍です
一、『だんご』になる心配少しもありません
一、永持ちしますから至極德用になります
一、値段も他の蒲團綿よりも安くあります
一、輕くて寢心地のよい事天下一品です
京城青葉町（電話一六五番） 朝鮮製綿株式會社

・大發明マラソン足袋ノ發賣・

商標 日之丸
マラソン王 代議士 日比野先生發明
日比野式運動足袋（一名マラソン足袋 又は日之丸足袋） 實用新案出願八六三三七號
國家的事業として弊店發賣の日比野式運動足袋は先生廿ケ年間育英事業に盡瘁の傍ら最も体育上に留意せられ健全なる國民を養成するの目的を以て此處に多年の實驗を積み純粹國產品を材料として考案せる最も堅牢實用的の逸品なり
賣價 試用者見本として 一足 送料共五十三錢 但し文數御指定の事
一手特約店募集（期限六月十五日迄）（詳細は御通知次第目錄入手御照會ありたし）
東京市神田區永富町六 日之丸社 電話神田一六一一番 振替東京一八〇五九番

▲セメント著荷
京城古市町 苦米地商店 電話九四一、三一〇八番 振替京城五三三番

專賣特許 宮崎式ペーチカ 說明書送呈
ペーチカ築設專門 龍山 大連 奉天 羅南 咸興 平壤 宮崎組

花吹雪

大阪 中谷靑霞

(五十一)

其上の望みは敵討と云ふ、唐士が言葉に二人は思はず膝を進めて『して其敵と云ふは何人の敵、何處の誰をお探しやるか。』と左右より尋ねる顔色、義に勇める狀を見て、唐士は更らに四邊を見廻しながら。

『されば御座りまする。』と聲を潛め。

『妾が父は羽州鶴ケ岡の藩士、宮城左門と云ふ侍、何人が如何なる遺恨の筋とも知れず、歸城の折から濠端の夕闇に思ひもかけぬ不意の刃傷、殺害したは土地の無頼漢とは聞けど手懸りもなく、父が兄の香之助と云ふは妾が幼少の頃家出なされし儘行方も知れず、跡目の願ひも聞届けられず遂に我家は家斷沒收となり、一家離散の非運に陷り、妾は母方の祖母が手に養はれ、果敢ない月日を送るうち、叔父香之助殿は江戸に仕官の身となりておはす由、仄かに傳聞き如何にもして、尋ね逢ひ力を合せて共々に、父の敵を探さんと祖母死去の其後、心細くも妾一人江戸へ出づる途すがら惡黨に出會ひ、既に危い處を助けられたが仲萬字の亭主藤吉どので御座りまする。』

『うむゝして叔父御に對面せば、何か敵の手懸りにでも得られうの心當てでもおはすのか。』

と溝兵衞は倚座を進むる。

『當時叔父香之助殿は倚城下におはして、諸國の浪人共とお交りがあつたと聞きますれば、何彼の手懸りあらうも知れずと、只それのみが僅かに頼みの索で御座りまする。』

『むゝなれば何彼は差し措き、尋ね逢ひたいと思ふは、叔父香之助殿とやらな、はて一刻も早く對面のして、主税之助樣とも豫ての磐ひを果たし、共々敵を尋ね得させたいもの、なれど何を頼りに尋ね巡らんやうもなきこの大江戸、さて力なき仕儀……。』

と嘆の體、主税之助も吐息して打沈む。折から障子の外に突然聲あつて。

『叔父香之助對面のしよう、父の敵も探がすに及ばぬ、今眼の前に討たせ申さう。』

と云乍ら緣側よりぬつと入り來りしは柳川香爾。

『やゝお身は柳川……さては始終を……。』

と主税之助刀おつ取て屹となる。

『おゝ、お身達が其後の動勢如何あらんと潛かに當院に忍び寄り、椽下窺ふ緣先に圖らず聞く唐士が物語、眞、某は羽州庄內藩士宮城香之助、現在弟が遺兒の道子とは知らず、此程より樣々の難題、備共上に建部月岡兩家に確執の起させ、溝兵衞殿の身の不辭と云ひ思ひもかけぬ讃十郎殿の身の破滅も、皆某が思慮の足らざるより起りし事、何れもへ對し名乘り出づる面目もおはされぬ仕儀、道子赦して異りやれ。』

と香爾は慚愧の涙はら〳〵と流し悵然とさし俯向く。

『さては叔父御樣でおはしたか、お懷しう御座りまする。』

と唐士は日頃の怨みも打忘れて縋り寄り、泣くより外の言葉もない。

『むーさても不思議の緣の索、敵となるも味方となるも畢竟これ相緣奇緣、斯くなる上は怨みもなし過ちと知つて改むるに憚る處はおはさぬ仕儀……。』

『して今眼前敵を討たすと云はれたは如何なる仔細のおはしてか、包ます語りやれ。』

と主税之助溝兵衞の兩人左右より詰め寄る。

柳川は片傍差拔くより早く、物をも云はず我と我腹へグザとばかり突き立てた。

院長 醫學士 森定吉
(美容醫院改め)
內科 小兒科 入院隨意 森病院
京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡 電話二六二三番

東正氣堂
京城本町二丁目
電話二九五番
振替京城一二八三
▲御一報次第見本進呈

碁戰譜休載

日報歌壇

旅に歌へる(二) 本間 落月

寄るとなくよりたる路のほそければしずもの森にゆれてけるかも

目なとめて見ればみねざる蔭なるかげには咲けるすゞらんの花

掻くさ路にひきたる我影のかくはさびしく見ゆるものかな

ふさわれにかへりてづつと見入りたる鏡にさしたるすゞらんの花

人は人われはわれぞと云ひもかれもだせるこれの身のあはれなり

このひとみさよのくだちの味わちに見辰ればつぶら涙落つるも

さびしさに堪へつゝ居ればこのくだちよばるにして君のうかびく

いまさらになにかなさむ吾なるか心のまゝになすべかりしを

うちもだし今日も見てしがみ山なる湖にまじりて咲く山櫻

深山にてなほ咲く花のあるものをいつまで我のかくてあるべき

婦人科 內科 胃腸 外科
六〇六號注射 自朝十時
龍山元町三本願寺前 醫學博士 小川 靑
醫院

日報俳壇

花十七句 龍山 竹內笛木

花、花を壓して暗らき日蔭に
藪の角に一樹明るき花ありぬ
花に灯照つて舞ふ人見る二階哉
花見戻の挨拶ひ合ふ門は暗し
興を食み出し裳裾の色や花筵
盲者二人立話しせる內の櫻
流れ浮く花を捲き込む渦なりぬ
花見人を汽車吞み夕驛は廣し
花に過らせし賑に暗ら車窓哉
呉服荷卸す縁には朝の花の影

新刊紹介 (到着順)

▲縮本日本外史(大町桂月編) [illegible]

▲模範作文辭典(作文研究會) [illegible]

▲食物の養生(四の五) [illegible]

▲新時代(六月號) [illegible]

◎東京三金の靴 東京市芝區愛宕下町三金の高等靴店は益々刷革の大發展を來し各靴の材料が値上實行せるにも不拘値上以前多數材料買占め豐富なる爲め一般需用者に特別廉價にて販賣しつゝあれば當地勿論各地より多數の注文に接し日夜多忙を極めつゝありと因に希望者は端書で申込ば最新目錄進呈すると云ふ

◎新發見奇藥 リウマチスの恐るべき病なるは今更云ふまでもない事で從來いろ〳〵の人によりて調和せられた藥は澤山あれど其効果ある物は誠に少ない東京市淺草區御見世天明横町井筒屋油店の同藥は奇効ある由にて患者よりの禮狀多數に上れりと

花の稍相觸れて明き亭がある花に明う灯されて人々は醉ふ

騷人の下手八庚や花の山
ほつれ毛をかき上げ花夕べ
高荷負うて歸る夜道の櫻
衛門深く鎖されて花に掃く使丁
花吹雪く土手登り來し斑牛 龍山公園にて

讀者の領分

[illegible]

皮膚病 黴毒 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍
皮膚科 黴毒科
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目 佐藤醫院 (電話一一七三番)

かぜに良し
ねつに又よし
ヘブリン丸
ハカリ印を
忘れ給ふな
登録商標 ハカリ印
大阪北濱 本舗 參天堂 電話本局長一二〇四 一二〇五

忠州淸州間自動車開通
▲六月一日より(淸州芙江に連絡)
忠州發午前八時半 淸州發午前十時
忠州著同十一時半 淸州著同十一時半
▲乘車賃壹圓五拾錢 ▲御用の節は臨時運轉す
淸州本町四丁目電話五五番
忠北自動車組合

りん病
(淋病)で困る方に 三錢送れば多年の經驗で治す秘密を無代で敎へ升
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

中風病 ちうき
余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして
兵庫縣明石中町 加古忠兵衛

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方は當家に自服の良藥あり
名古屋市中區南小川町 救生館

滿鮮總代 新藥レスノリン
月經
大阪北區曾根崎上一丁目二六地 發行所 常盤藥院

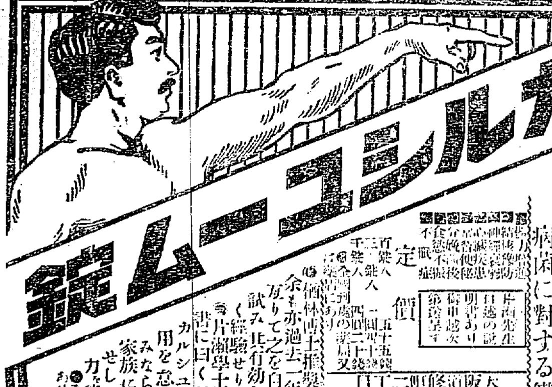
▲實用 和服セル▼
一、單衣、夏羽織
仕立上げ 金八圓九拾錢
●送料鮮內十二錢外三十錢
▲吳服物一切昂騰の折柄聊か除ての御厚情に酬ゆる爲め特に研究の結果賣出候品に有之候
▲地方より御注文は御申込次第見本切御送付可申上候
京城太平通一丁目 京城日報社代理部 電話二〇九番 振替京城三〇〇番

內科 小兒科 入院隨意
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 戸川廣武
永登浦分院長 醫師 久保 次
京城旭町一丁目 小林醫院 (電話九六二番)

ヒコーキ印粉劑消火器
ヒコーキ印粉劑消火器
官衙、銀行、會社、學校、家庭に必ず備へ付けらるべき消火器!
定價一本金二圓 送料金十二錢
大發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話構內一八番

川北製 センプーキ
十二吋及十六吋(首振及固定型)
製品多數在庫
株式會社 川北電氣企業社 (本社資本金三百萬圓)
小倉出張所 九州小倉市鳥町一八 電話長六八

內科 胃腸病科
京城本町十丁目 石川醫院
電話 一二七三 一九二九
夜間診察九時迄



ダカルシユーム錠
體力增進の要素
人體に對する賦縮肥料
病菌に對する鐵條網
定價
大阪道修町二丁目 大阪本店 和田卯助商店

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
振替貯金口座京城八一四番 京城黃金町電話四三〇番 五八〇番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
ニ預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利諸取扱可申候

白粉附のよい顔

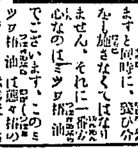
必要な脂肪と過剰な脂肪
汚垢を落して潤澤を保つ

中村雁治郎談

(ミツワ文庫七、六)

濃化粧をいたしますにも、または薄化粧をいたしますにしましても、是非無くてならないものは白粉でございますが、それなら白粉さへ塗れば、何時でも、思ひのまゝに美しいお化粧が施せるかと申しますに、地肌がお化粧に適するやうに整つて居りませんでは、決して水際立つた活々したお化粧の施せるものではありません。脂肪の多い肌膚になりますと、白粉がはじき加減で、よくのりませんのみか、脂肪のために化粧が汚れがちでございます。これと反對に脂肪の少ない肌膚ですと、カサ〳〵して白粉がなづますに、ところ〴〵剝げて斑になります。ですから脂じみた顔や、脂肪の無い顔では、お化粧の理想の「白粉を透して地肌の美しさを活かす」といふ譯にはまゐりません。立派なお化粧の自在に施せる肌膚に仕上げますには、分泌する脂肪を、多くも少なくもない丁度よい加減に止めて、過剩の脂肪を除く工風が肝腎でございます。また脂肪の少ない方ならば、汚垢だけ落して、脂肪は保つて、肌膚に潤澤をつけるやうにしなければなりません。ところが混合物のある粗惡な石鹸や普通の洗粉などでは、汚垢が落ちるかと思へば、必要な脂肪までも落して、肌膚を荒したり、肌膚が荒れないかと思へば、汚垢の落ちが惡るかつたりして、まことに困るものですが、其樣な心配の少しもありませんのは、ミツワ石鹸でございます。ミツワ石鹸は原料に最上の脂肪を使つた上に、日本人の肌膚の組織を、生理上から研究して、これに適するやうに精製された、無類の優良品でありますから、毎朝の洗顔、每日の入浴に湯水に潤して柔軟になりました肌膚へ、掌で溶きましたミツワ石鹸の泡沫を塗りまして、徐かに撫でますと、大切な脂肪だけ止つて、汚垢はすつかり泡沫に混つてしまひますから、そこを湯水で洗ひ流しますと、洗垢は清潔に落ちて、肌膚の機能は健かになり、營養は助けられて、血色のよい艶々した肌になります。ミツワ石鹸を使つて肌膚を美しく潤めましたならば、拭つた手拭で濕氣を拭きました後、健膚藥のミツワ雪の雫を塗つて、上から抑へる樣にそつと拭き取つて置きますと、ミツワ石鹸の作用を助けて、一しほ白粉ののりのびのよい活々とした見事な肌膚になります。

▲中村魁車曰く 人樣に美しく見られるやうな見事な顔にしますには、精つてあるのが何よりで、頭髮に乘せてやりますと同時に、盛ひ分なく施さなくてはなりません。それに一番肝心なのはミツワ椿油でございます。このミツワ椿油は隨分技の質の優な本場から取り寄せて、冷壓法で搾り取つた無類の上等な品でありますから、これを始終お使ひになつて居ますと頭髮は黑く房々として、めつきり美しくなります



▲發賣品目錄進呈 東京橋町 丸見屋商店▼

醫學士 小山田 著
家庭治療法 四六版 二三〇頁
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五拾錢。但其半額(郵券代用不苦)を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町九 丸見屋商店 (振替東京七一〇番)

日本郵船出帆

大連行 天津行
相模丸 六月十九日
三河丸 七月九日
高砂丸 六月廿九日 正午出帆
仁川海岸町十一 堀回漕部

仁川汽船出帆

下ノ關、大阪直行
第一太湖丸 六月十二日後四時
君代丸 六月十日後四時
大有丸 六月六日後四時出
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 六月八日後四時出
仁川海岸通二丁目 杉回漕部

阿波共同汽船出帆

大連直行 遞信省命令航路
第廿一共同丸 六月三日後入港 四日後出港
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城代理店 南大門通(電話二七六〇八三) 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○敦賀行 平壤丸 六月八日 清津發 城津、元山經由
○浦汐行 平安丸 六月四日 釜山發 / 六月十一日 元山發
○雄基行 [illegible]
×基雄丸 六月七日 釜山發 / 六月九日 元山發
成鏡丸 六月十三日 釜山發 / 元山發
○元山雄基線 鏡城丸 六月五日 元山發
○大阪行 平安丸 六月十四日 元山發 / 六月十六日 釜山發
○關門行 京畿丸 六月五日 元山發 / 六月八日 釜山發
忠淸丸 六月十一日 / 六月十五日 釜山發
○金剛山遊覽便 穩城丸 六月九日 元山發
○鬱陵島行 盈德丸 六月五日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸、金華丸每日釜山、浦港發
○濟州島行 昌平丸 六月十日 釜山發
○濟州島行 木浦發 東廻慶興丸 六月六日 西廻公州丸 六月九日 木浦發
○釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸、每日釜山發
木浦麗水線 金海丸 六月四日 木浦發
○多島海行 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 全州丸 六月八日 仁川發
○海州行 江華丸成歡丸每日一回仁川海州發
○鎮南浦行 鶴州丸 六月八日 仁川發
○青島行 江原丸 六月八日 仁川發
○鎮南浦大連直行線 宗信丸 月 日鎮南浦發
朝鮮郵船株式會社 本社 京城南大門通 (電話一九五二)
釜山支店 釜山港佐藤町
元山出張所 元山港海岸通
仁川回漕部 仁川港代理店
木浦回漕部 木浦港代理店
京城荷客取扱店 中野回漕部
京城南大門驛前 松原運送店